

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		321 練馬区の特徴的な産業を支援する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業振興策として、現在の事務事業に加えて、中小企業を支援するための専門的な立場からの助言指導事業が必要ではないかと考える。 ・区の地場産業を育成するためには必要な施策である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の地場産業を育成するためには必要な施策である。 ・中小企業振興策として、現在の事務事業に加えて、中小企業を支援するための専門的な立場からの助言指導事業も検討するとよい。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 を活用して施策の成果が評価(測定)できるような成果指標を設定すべき。 ・成果指標は2つ掲げるべきである。また、区内経済の発展も目標なのであるから、アニメ産業全体の売上高などの経済面の数字を指標とすることについても検討した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 を活用して施策の成果が評価(測定)できるような成果指標を設定するとよい。 ・区内経済の発展も目標なのであるから、アニメ産業全体の売上高などの経済面の数字を指標とすることについて検討した方がよい。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・従業者が増えればアニメ関連企業の集積と直ちにいえるかについては疑問が残る。 ・指標の設定がやや分かりにくいので検討すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の「アニメ関連企業の従業者数」の増加と、目標のアニメ関連企業の集積との関係について具体的に説明があるとよい。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・23年度および24年度の実測値がないため、目標の妥当性が評価できない。目標の設定に当たっては、データが継続的に入手可能かどうかを吟味検討する必要がある。 ・2,500人とした根拠および毎年100人ずつ増やしていくことの合理的な理由が明確ではない。 ・伝統産業の指標もあればよい。従業員数も指標の一つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2,500人とした根拠と、毎年100人ずつ増やす合理的な理由の説明があるとよい。 ・伝統産業の従業員数も成果指標として検討するとよい。 ・23年度と24年度の実測値がない。目標の設定に当たっては、データが継続的に入手可能かどうかを吟味検討する必要がある。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の成果指標は、データがないため判断できなくなっているが、事務事業の成果指標は目標を上回っているので、「目標を達成していないが、一定の成果があった」のBにする必要がないと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の成果指標は、実績値がないため判断できないが、施策を構成する事務事業の成果指標は目標を上回っているので「A 十分な成果があった」としてもよい。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメ産業の業績が上向いたのは、練馬区の施策と因果関係があるのであれば、わかるように記載した方がよい。施策と関係ないのであれば、評価理由とするのは違和感がある。 ・有効回答を得た企業の景観だけで評価理由にすることはやや妥当性に欠ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメ産業については、有効回答を得た企業の景況だけではなく、業績が上向いたことと区の施策の因果関係をもっと具体的に記載するとよい。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3		
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・記述に説得力を持たせるため、他の自治体のデータを示し、効率的に実施していることを示すべき。 ・外部委託による効率性は理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部委託による効率性は理解できる。 ・記述に説得力を持たせるため、他の自治体のデータを示し、効率的に実施していることを示すとよい。

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3		
	外部要因 複合要因	記載内容の妥当性	3	・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させて記載するようにしたら分かりやすい。	・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させて記載するようにしたら分かりやすい。
		記載内容の妥当性	3		
総合評価	ア) 評価区分の妥当性		3	・伝統工芸展の取り組みの内容に 特に新しさが感じられないこと 、ゆるキャラをアニメキャラクターと呼ぶこと＝アニメのまちのシンボルとすることへの説明が 納得のいくものではなかった点がある 。	・ゆるキャラをアニメキャラクターと呼ぶこと＝アニメのまちのシンボルとすることの説明が 詳しくあるとより納得できるものとなる 。 ・伝統工芸展の取り組みの内容に さらなる工夫がほしい 。
	イ) 評価理由の妥当性		3		

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア) 評価結果との関連性		3	・「取組内容」と「取組結果」との対比関係はわかるように記載されているが、「評価結果との関連性」という観点からは、評価結果に対応した記述 となっていない 。 ・アニメ産業の振興に対する努力と認められる。	・アニメ産業の振興に対する努力と認められる。 ・「取組内容」と「取組結果」との対比関係はわかるように記載されているが、「評価結果との関連性」という観点からは、評価結果に対応した記述 とするとよい 。
	イ) 内容の具体性	3	・記述は、具体的であり、説得力を持っている。 ・伝統工芸を発展させるための詳しい方策をもう少し詳しく説明してほしい。 ・他の地域との比較調査が さらに必要 。	・記述は、具体的であり、説得力があるが、伝統工芸を発展させるための詳しい方策をもう少し詳しく説明してほしい。 また、他の地域との比較調査があるとよい 。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・事務事業No.2「中小企業振興経費(伝統的産業・地場産業支援)」は、協働事業について「非該当」とされているが、「練馬区区民との協働指針」の協働事業に該当している。区は補助金や後援を通じて各種の組織・人とのネットワーク作りに積極的に関与していくべきである。「協働事業」にすることによって、関係者の意識が変化することが考えられ、支援がより一層スムーズに展開されていくことが期待される。</p> <p>・他自治体でもアニメを中心施策として掲げるところが増えている。その中で練馬区がどう優位に立つか、を常に追求してもらいたい。練馬区が「クリエイターズアワード」を廃止したことは大変残念であり、むしろ、このような賞を大々的に宣伝して推し進めることで、この賞に選ばれることが誇りであるという流れが作れば、練馬区が日本全国、さらには世界からも注目を浴びることになる可能性もある。練馬区の中核産業として支援して推し進める以上、金銭的な支援のみならず精神的な支援も是非検討してほしい。</p> <p>・ねり丸は区民に人気があり、確立されつつあるキャラクター。アニメーションのまちを推進していくための「公式アニメキャラクター」としてさらなる活用を期待するが、ゆるキャラと混同されないよう工夫してほしい。</p>	<p>・事務事業No.2「中小企業振興経費(伝統的産業・地場産業支援)」は、協働事業について「非該当」とされているが、「練馬区区民との協働指針」の協働事業に該当しているのではない。区は補助金や後援を通じて各種の組織・人とのネットワーク作りに積極的に関与していくとよい。「協働事業」にすることによって、関係者の意識が変化することが考えられ、支援がより一層スムーズに展開されていくことが期待される。</p> <p>・他自治体でもアニメを中心施策として掲げるところが増えている。その中で練馬区がどう優位に立つか、を常に追求してもらいたい。練馬区が「クリエイターズアワード」を廃止したことは大変残念であり、むしろ、このような賞を大々的に宣伝して推し進めることで、この賞に選ばれることが誇りであるという流れが作れば、練馬区が日本全国、さらには世界からも注目を浴びることになる可能性もある。練馬区の中核産業として支援して推し進める以上、金銭的な支援のみならず精神的な支援も是非検討してほしい。</p> <p>・ねり丸は区民に人気があり、確立されつつあるキャラクター。アニメーションのまちを推進していくための「公式アニメキャラクター」としてさらなる活用を期待するが、ゆるキャラと混同されないよう工夫してほしい。</p>
-----	---	--

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		324 消費者の自立を支援する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)		コメント・改善点(提言版)
施策を達成する手段として適当か	3			
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は、1「消費者育成啓発事務」を構成する3つの活動のうちの1つの活動に係わる数値にしか過ぎない。区民や区議会に施策の成果を説明する上で役割を期待できない。 ・概ね妥当。 ・講座参加者はもともと意識の高い方々であるから、区民全体がどの程度「啓発」されているか、という観点からは限定的な指標と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は、講座参加者はもともと意識の高い区民であるから、区民全体がどの程度「啓発」されているかという観点からは限定的であり、また1「消費者育成啓発事務」を構成する3つの活動のうちの1つの活動に係わる数値に過ぎないことから、さらにその他の視点から成果指標を増やすと、区民や区議会にとって施策の成果がわかりやすくなる。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当。 ・消費者講座の参加者数を増やすだけでは分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当だが、消費者講座の参加者数を増やすだけでなく、ほかの視点からの指標があるとわかりやすくなる。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの指標だけでは物足りない。 ・25%増とする合理的な根拠が見出しがたい。 ・20年度を基準とした理由が分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年度を基準とした理由や25%増とする合理的な根拠の説明があるとよい。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)		コメント・改善点(提言版)
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の指標を見てもA(目標を達成し十分な成果があった)であるとはできない。 ・概ね妥当。 	
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・1「消費者育成啓発事務」の活動指標を見ると、消費者講座、消費者教室、消費者生活通信講座、消費者生活展(中央展、移動展)は24年度は対前年度の実績を下回っている。また、2「消費者支援事務」の成果指標を見ると、消費生活相談の解決率も目標が据え置かれていることから達成しているに過ぎない。 ・概ね妥当。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当であるが、1「消費者育成啓発事務」の活動指標(消費者講座、消費者教室、消費者生活通信講座、消費者生活展)の実績や2「消費者支援事務」の成果指標(消費生活相談の解決率)の視点からも記述があるとより納得できるものとなる。
	ア)評価区分の妥当性	3		
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果が見えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果の具体的な説明があるとよい。
要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	
	外部要因	記載内容の妥当性	3	
	複合要因	記載内容の妥当性	3	

総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・1「消費者育成啓発事務」の活動指標を見ると、消費者講座、消費者教室、消費者生活通信講座、消費者生活展(中央展、移動展)は24年度は対前年度の実績を下回っている。また、2「消費者支援事務」の成果指標を見ると、消費生活相談の解決率も目標が据え置かれていないことから達成しているに過ぎない。 ・PR活動はよく行っているため概ね妥当。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PR活動はよく行っているため概ね妥当と評価するが、1「消費者育成啓発事務」の消費者講座、消費者教室、消費者生活通信講座、消費者生活展(中央展、移動展)の開催実績や、2「消費者支援事務」の消費生活相談の解決率からの視点で記述があるとより納得できるものとなる。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・23区内で消費者相談が一番多いのはよいが、余り多いのは消費者の自立が育っていないかと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・23区内で消費者相談が一番多いのはよいが、消費者の自立が育っているかの視点の検討もあるとよい。

(4)改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性	イ)内容の具体性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の満足度はある程度把握しているようである。 ・取組内容と取組結果が対比された記載内容になっており分かりやすいが、「評価結果との関連性」という点ではもう少し工夫した方がよいのではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の満足度を把握した記述である。 ・取組内容と取組結果が対比された記載内容になっており分かりやすいが、「評価結果との関連性」という点でもう少し工夫があるとよい。
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者講座等の参加者増、消費生活センターの認知度の向上を図るための方策について、意欲的で、かつ具体的に記述することが求められる。 ・概ね妥当。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当な記述だが、消費者講座等の参加者増、消費生活センターの認知度の向上を図るための方策について、意欲的で、かつ具体的に記述するとよい。

(5)その他(総合的なコメントなど)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・指標等の数値からは区の取組の成果は見えにくいですが、事務事業は活発に展開されているように見受けられる。この施策の成果を測定する成果指標が「消費者講座等の参加者」としたことによって、区民や区議会に対して成果をアピールする力を弱いものになっている。 ・区の取り組みが一部の区民だけになって多くの区民にはまだまだ行き届いていないので、もっと知らしめるようにしてほしい。 ・23区内で相談件数が常にトップ周辺にいる(と思う)ことを認識して、消費者問題についての啓発活動をさらに充実してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指標等の数値からは区の取組の成果は見えにくいですが、事務事業は活発に展開されているように見受けられる。この施策の成果を測定する成果指標を「消費者講座等の参加者」としたことによって、区民や区議会に対して成果をアピールする力を弱いものになっている。 ・区への取り組みの対象が一部の区民だけでなく多くの区民にはまだまだ行き届いていないので、もっと知らしめるようにしてほしい。 ・23区内で相談件数が常にトップ周辺にいる(と思う)ことを認識して、消費者問題についての啓発活動をさらに充実してほしい。
-----	---	--

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		325 都市農地を保全し都市農業を支援する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	4	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目的を達成する手段として相応しい。 ・施策は、政策の「経済活動を活発にする」とどのように結びついているのかわからない。 ・施策を構成する事務事業は、経済活動に結び付ける方策よりも、農地の保全、運用に注がれて、都市型農業の未来像が欠けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策の「経済活動を活発にする」とどのように結びついているのかわかりづらい面もあるが、施策の目的を達成する手段として相応しい。 ・施策を構成する事務事業は、経済活動に結び付ける方策よりも、農地の保全、運用に注がれているが、都市型農業の未来像に結びつく事務事業もあるとよい。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の「農業体験農園の施設整備数」と「認定農業者の認定」は、お互いに異なる視点にあることから代表性があると考えられる。 ・どこに視点を置いて進めようとしているのか、全体像がよくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の「農業体験農園の施設整備数」と「認定農業者の認定」は、お互いに異なる視点にあることから代表性があると考えられる。 ・どこに視点を置いて進めようとしているのか、全体像がわかりづらい面もある。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者の定義が分からないので、説明が必要ではないか。 ・成果指標の と の関係が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者の定義の説明があるとわかりやすくなる。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、延べ人数としているが、わかり難い。農家数と農業者数が、 ・平成26年度までの目標値を、農業体験農園数は18園、認定者農業者は55名としているが、数値の合理的根拠の説明がなく妥当性の判断がしにくい。 ・目標を達成することによる経済性が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、延べ人数としているが、農家数や農業者数等、定義を明確にすると分かりやすくなる。 ・平成26年度までの目標値の合理的根拠の説明があるとより納得できるものとなる。 ・上位概念である政策目標「経済活動を活発にする」に対する効果についての記述があるとよい。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・努力がある程度認められる。 ・区は事業活動を支援する立場にあるので、「目標」とすることにやや難点がある。また、全ての事務事業に当てはまる区分として不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の出組の成果は認められるが、区は事業活動を支援する立場にあるので、「目標」とすることにやや難点がある。また、全ての事務事業に当てはまる評価区分は検討の余地がある。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度説明できる。 ・農業体験農園整備にかかる評価理由の記載内容は、「目標を達成し」充分な成果があったことの理由になるのかわかりにくい。 ・事務事業は多岐に亘っているのに、体験農園と認定農業者に絞って評価している理由が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当と評価できるが、農業体験農園整備にかかる評価理由は「目標を達成し」充分な成果があったことの理由としてはやや弱い。また、事務事業は多岐に亘っているのに、体験農園と認定農業者に絞った評価とせず、全体を見通した内容とした方がよい。
効率性	ア)評価区分の妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・比較するものがないので、区分どおりに評価できないのではないかと。 	
	イ)評価理由の妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「必要な支援を効率的に行うことができた」と記されているが、具体的に何をし、効率的に行うことができたのかと分かりやすい。 ・タイムリーな機会の導入などの説明でコストの内容が理解できた。 ・一定の投資の下での効率性としては、理由づけが不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーな機会の導入などの説明でコストの内容が理解できた。 ・「必要な支援を効率的に行うことができた」と記されているが、具体的に何をし、効率的に行うことができたのかと説明があると分かりやすい。

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・事務事業の表面的な評価に終始している。	・事務事業の一般的な内容だけでなく、より具体的に掘り下げた記述があるとより納得できるものとなる。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・事務事業の表面的な評価に終始している。	
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・事務事業の表面的な評価に終始している。	
総合評価	ア)評価区分の妥当性		4	<ul style="list-style-type: none"> ・「区内農業者の経営の安定化」が推進しているとあるが、経営の安定化を示すデータがないので、この点の検証が不能。また、同様に「農地の保全を推進している」ともあるが、農地の面積の増減に関するデータをあわせて示したほうが分かりやすい。 ・農地の保全、住民の農とふれあう機会の創出という面では、一定の評価はできるが、政策の「経済活動を活発する」という視点での評価になっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「区内農業者の経営の安定化」が推進しているとあるが、経営の安定化を示すデータがあるとより納得できるものとなる。また、同様に「農地の保全を推進している」ともあるが、農地の面積の増減に関するデータをあわせて示したほうが分かりやすい。 ・農地の保全、住民の農とふれあう機会の創出という面では、一定の評価はできるが、政策の「経済活動を活発する」という視点からの記載もあるとよい。
	イ)評価理由の妥当性		3		

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性	4	・農地面積が23区内随一とする練馬区にあって、農地の保全、運用による経済効果を示すべきである。	
イ)内容の具体性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・農地関連制度が改善されていないことが都市農地の減少の要因であるとしているが、主因は遺産の相続問題ではないのか。 ・既存策の継続を述べるだけで、斬新な改革、改善策が見当たらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農地の減少に歯止めをかけるために、遺産の相続問題からも検討する方がよい。 ・既存策の継続だけでなく、斬新な改革、改善策があるとよい。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい社会経済環境の中で施策の実施によく取り組んでいると思う。 ・この施策は練馬区ならではのものであり、都市農業として先駆的な取り組みとして日本全国から注目され手本になるよう、引き続き積極的に遂行してほしい。 ・事務事業は、真に都市型といえる画期的な事業を検討すべきである。 ・私有地である農地の活用は難しい面もあると思うが、練馬区の緑の財産としてさらなる活用を期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい社会経済環境の中で施策の実施によく取り組んでいると思う。 ・この施策は練馬区ならではのものであり、都市農業として先駆的な取り組みとして日本全国から注目され手本になるよう、引き続き積極的に遂行してほしい。 ・事務事業は、真に都市型といえる画期的な事業を検討するとよい。 ・私有地である農地の活用は難しい面もあると思うが、練馬区の緑の財産としてさらなる活用を期待したい。 ・農地面積が23区内随一とする練馬区にあって、農地の保全、運用による経済効果を示すべきである。
-----	---	---

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		327 まち歩き観光を推進する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区観光案内所の利用者数が減少していることを考えると、何らか事務事業の中身の充実を図るか、他の対策を講じることが必要と考える。(3のつもりでコメントしました。) ・妥当な手段と評価できる。 ・上位の目標にどの程度、反映されているのが疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な手段と評価できるが、練馬区観光案内所の利用者数が減少していることを考えると、何らか事務事業の中身の充実を図るか、他の対策を講じるとよい。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの成果指標を設定することによって施策成果の測定(評価)を充実することが可能になるし、区民や区議会に対する説得力も増すものと考える。 ・成果指標 は、来場者数で客観的に測り得るが、施策の目指す状態である「地域経済が活性化している状態」については全く測れていない。「地域経済の活性化」を図る成果指標は必要ではないか。 ・「練馬まつり」や「照姫まつり」は分かり易い例である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、来場者数で客観的に測り得るが、施策の目指す状態である「地域経済が活性化している状態」について測ることは難しいので、「地域経済の活性化」を図る成果指標を設定するとよい。「練馬まつり」や「照姫まつり」は分かり易い例である。 ・もう一つ成果指標があった方がよい。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・指標は単純すぎる。 	
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画に掲げる数値であるから「目標値」が妥当ということにはならないのではないかと。長期計画では、「まち歩き観光事業の推進状況を測定します。各年、対前年比2%の増をめざします」という表現になっている。実績値を採用しても不都合はないと考える。 ・対前年度比2%の合理的な根拠が不明である。22年度、23年度いずれも実績値が目標値を超えているにも関わらず、目標値を上方修正する等見直さないのはいかがなものか。 ・目標値の設定は説得力が欠ける。 ・もう一つ評価指標が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画に掲げる数値であるから「目標値」が妥当ということにはならないのではないかと。長期計画では、「まち歩き観光事業の推進状況を測定します。各年、対前年比2%の増をめざします」という表現になっている。実績値を採用しても不都合はないと考える。 ・対前年度比2%の合理的な根拠が不明である。22年度、23年度いずれも実績値が目標値を超えているにも関わらず、目標値を上方修正する等見直さないのはいかがなものか。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各年度の施策の成果指標と事務事業の成果指標からみて、B評価が妥当と考える。 ・来場者数が増加したことはもちろん評価の1要素だが、施策目的の「地域経済の活性化」について検証がされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各年度の施策の成果指標と事務事業の成果指標からみて、B評価が妥当と考えるが、施策目的の「地域経済の活性化」についても記述があるとよい。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標で設定された目標値を上回っているが、これは目標値が低いためである。評価理由もこの点に関しては説明不十分である。 ・施策目的の「地域経済の活性化」についても記載が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標で設定された目標値を上回っているが、これは目標値が低いためである。評価理由もこの点を踏まえて記載した方がよい。 ・施策目的の「地域経済の活性化」についても記載があるとよい。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・大幅なコスト削減をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大幅なコスト削減をしている。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・外部委託を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部委託を評価する。

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・練馬まつり・照姫祭りの事務業務の委託は平成18年度から行っていることであり、最近の取組等について紹介すべき。 ・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させて記載するようにしたら分かりやすい。	・練馬まつり・照姫まつりの事務業務の委託は平成18年度から行っていることであり、最近の取組等についても記載があるとよい。 ・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させて記載するようにしたら分かりやすい。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させて記載するようにしたら分かりやすい。	・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させて記載するようにしたら分かりやすい。
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させて記載するようにしたら分かりやすい。	・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させて記載するようにしたら分かりやすい。
総合評価	ア)評価区分の妥当性		3	・目標値が低く抑えられているために目標を達成しているに過ぎない。B評価であると考える。 ・来場者数という成果指標に対してはA評価でよいが、本件施策の目的全体に対する総合評価という点でいえば、「地域経済の活性化」に関する検証・評価が欠落しているためA評価はできない。	・来場者数という成果指標に対してはA評価でよいが、本件施策の目的全体に対する総合評価という点でいえば、「地域経済の活性化」に関する検証・評価もあるとよい。
	イ)評価理由の妥当性		3	・施策の目指す状態である「地域経済の活性化」についてどう評価しているのかの記載がほしい。	・施策の目指す状態である「地域経済の活性化」についてどう評価しているのかの記載があるとよい。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性	3	・平成26年度までのハードの拡充予定とそれに対して役割分担をするという記載にとどまらず、「評価結果との関連性」という観点からの記載ではない。	・平成26年度までのハードの拡充予定とそれに対して役割分担をするという記載だけでなく、「評価結果との関連性」という観点からの記載があるとより納得できるものとなる。
イ)内容の具体性	3	・今回の内部評価を踏まえて、今後、どう取り組むか、という流れで記載したほうが分かりやすい。 ・観光案内所の充実サービス向上のためには必要と考える。	・今回の内部評価を踏まえて、今後、どう取り組むか、という流れで記載したほうが分かりやすい。 ・観光案内所の充実サービス向上のためには必要と考える。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・本施策に対する区の取組は評価されるが、本施策が区民、区議会に対して説得力を持ったものにするためには、意欲的な目標値設定が求められるほか、施策全般の成果が見えるようにするため、もう一つの成果指標の設定が求められる。</p> <p>・施策の目的に「地域経済の活性化」をあげているにもかかわらず、この視点での評価が不十分であった。平成26年度には練馬区駅北口、平成28年度には石神井公園駅に観光案内所等が整備されることから、これらハードをいかして、ソフトをどう充実させていくか、という点こそが重要である。</p> <p>・取り組み方が定例化・形骸化しているので、質・量ともに新鮮味を持たせ、外部にも宣伝して練馬の発展につながるようすべきである。</p> <p>・各イベントにかける莫大な予算の中で、それぞれを"振り返る"ことをもっと重視してほしい。ねりコレは、商店等にとってどれだけプラスの効果を得られているのか、認知度など、制度そのものの形骸化を防ぐ工夫がほしい。</p>	<p>・本施策に対する区の取組は評価されるが、本施策が区民、区議会に対して説得力を持ったものにするためには、意欲的な目標値設定が求められるほか、施策全般の成果が見えるようにするため、もう一つの成果指標の設定が求められる。</p> <p>・施策の目的に「地域経済の活性化」をあげているにもかかわらず、この視点での評価が不十分であった。平成26年度には練馬区駅北口、平成28年度には石神井公園駅に観光案内所等が整備されることから、これらハードをいかして、ソフトをどう充実させていくか、という点こそが重要である。</p> <p>・取り組み方が定例化・形骸化しているので、質・量ともに新鮮味を持たせ、外部にも宣伝して練馬の発展につながるようすべきである。</p> <p>・各イベントにかける莫大な予算の中で、それぞれを"振り返る"ことをもっと重視してほしい。ねりコレは、商店等にとってどれだけプラスの効果を得られているのか、認知度など、制度そのものの形骸化を防ぐ工夫がほしい。</p>
-----	--	--

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		334 文化財を保存・活用・継承する			
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について					
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か		3	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な手段と評価できる。 ・貴重な文化財が所在不明になっているとの報道があるので、練馬区が現在取られている保存に関する助成措置を幅広く取られるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な手段と評価できる。 ・貴重な文化財が所在不明になっているとの報道があるので、練馬区が現在取られている保存に関する助成措置を幅広く取られるようにしてほしい。 	
(2) 成果指標について					
指標全体の評価	代表性		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
			3		
	わかりやすさ		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、指標名「文化財・伝統文化に関する普及啓発事業参加率」から参加率の分母をイメージすることが難しいことが、この成果指標を分かり難いものになっている。 ・成果指標 の「参加率」は母数により変更されるので、むしろ「参加人数」の増加により、区民への周知の状態を図るのも一案。 ・参加率は分かり易いが計算方法に問題あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、指標名「文化財・伝統文化に関する普及啓発事業参加率」から参加率の分母をイメージすることが難しいので、むしろ「参加人数」の増加により、区民への周知の状態を測るのも一案である。
	目標値の妥当性		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、登録すべき(潜在的な)文化財を把握した上でないと、妥当であるか否かの判断がつきにくい。 ・成果指標 は、保護・周知される文化財数(総計)は、3,000件あるという説明から、事情があるとはいえ毎年4件アップしていく目標掲示は疑問である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、保護・周知される文化財数(総計)は、3,000件あるという説明から、事情があるとはいえ毎年4件アップしていく目標設定は再検討の余地がある。
(3) 評価について					
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3			
	イ)評価理由の妥当性	3			
効率性	ア)評価区分の妥当性	3			
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果が出ない状況では費用削減努力だけでは説明できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用削減努力だけではなく、費用対効果の面からの説明があると分かりやすい。 	
要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・記述は、具体的に、区民が記述された文書だけを読んで分かるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させてもう少し具体的に記載するようにしたら分かりやすい。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させてもう少し具体的に記載するようにしたら分かりやすい。 	
	複合要因	記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・記載内容は、結局のところ、「成果」に関連する要因なのか、「効率性」に関連する要因なのかがわかりにくくなっている。対比させてもう少し具体的に記載するようにしたら分かりやすい。 	

総合評価	ア)評価区分の妥当性	3		
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す状態は、「区民に理解」されるとともに「保護、保存、周知、活用されている状態」であるから、「区民に理解」されていることに着眼した記載のみならず、「保護、保存、周知、活用されている状態」を達成できたかどうかという観点からも判断すべき。この点の記載が欠落している。 ・普及活動が弱い。 ・無形文化財の効果が見えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す状態は、「区民に理解」されるとともに「保護、保存、周知、活用されている状態」であるから、「区民に理解」されていることに着眼した記載のみならず、「保護、保存、周知、活用されている状態」を達成できたかどうかという観点からも判断した方がよい。 ・普及活動がやや弱いように思う。 ・無形文化財の効果も記述があるとよい。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	<ul style="list-style-type: none"> ・ から の具体的な記載で分かりやすいが、「評価結果との関連性」という観点からは、評価結果に対応した記述となっていない。 ・参加者に若い人が少ない。今後の対策は、 	<ul style="list-style-type: none"> ・ から の具体的な記載で分かりやすいが、「評価結果との関連性」という観点からは、評価結果に対応した記述となっていないので分かりづらい面がある。 ・参加者に若い人が少ないと思われるが、今後の対策どのようにするのか記載があるとよい。
	イ)内容の具体性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・括弧内に、達成・未達成とあるのは説明としては分かりやすい。 ・「お囃子」などの後継者問題は深刻と受け止めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・括弧内に、達成・未達成とあるのは説明としては分かりやすい。 ・「お囃子」などの後継者問題は深刻と受け止めた。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策(二つの事務事業)は成果を上げていると思われる。積極的に評価する記述にした方がよいと思う。 ・非公開文化財の毎年一度の公開を定例化すべきである。 ・有形・無形文化財の維持、保存の現状の説明を聞き、区民の関心を高める仕組みを構築する必要性を感じた。他の部署との連携等も積極的に行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策(二つの事務事業)は成果を上げていると思われる。積極的に評価する記述にした方がよいと思う。 ・非公開文化財の毎年一度の公開を定例化すべきである。 ・有形・無形文化財の維持、保存の現状の説明を聞き、区民の関心を高める仕組みを構築する必要性を感じた。他の部署との連携等も積極的に行ってほしい。
-----	--	--

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		341 犯罪等に対する態勢を強化する			
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について					
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)		
施策を達成する手段として適当か	3	・施策を実施するためには、いずれも必要な事業といえる。	・施策を実施するためには、いずれも必要な事業といえる。		
(2) 成果指標について					
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
		3	・事業の目的を反映している。	・事業の目的を反映している。	
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
		4	・指標が2つでわかり易い。 ・区民の暮らしを守るため必要な施策となっている。	・指標が2つで分かりやすい。 ・区民の暮らしを守るため必要な施策となっている。	
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
		3	・成果指標の目標値については、犯罪発生件数は毎年度減少してきているので、据え置くのではなく、意欲的に設定することが求められる。 ・24年度の満足度81.1%の記入漏れは偶然か。 ・目標値の基準が、成果指標については平成20年度、同については平成18～平成21年度の数値であり、やや古い印象は否めない。どうしてkの数値を採用することになったのかわかるような表記が望ましい。 ・区民の満足度の減少の理由は不明だが、裏返せばそれだけ安全が担保されていると云えるので、評価できる。	・成果指標の目標値については、犯罪発生件数は毎年度減少してきているので、据え置くのではなく、意欲的に設定するとよい。 ・目標値の基準が、成果指標については平成20年度、同については平成18～平成21年度の数値であり、やや古い印象は否めない。どうしてこの数値を採用することになったのかわかるような表記があるとよい。	
(3) 評価について					
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)		
成果	ア)評価区分の妥当性	4	・評価を適正に判定しており評価できる。 ・概ね妥当。	・評価を適正に判定しており評価できる。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・「ねりま安全・安心メール」の登録件数は対前年度を下回っているのに、その減少の理由を分析した上で、記述することが求められる。 ・刑法犯の中で振り込め詐欺の金額が大きく増加している。対策は他の部署と十分に連携しているのか。 ・24年度の満足度の大幅な低下は成果としては注視している。 ・概ね妥当。	・概ね妥当だが、事務事業「危機管理対策事務」の成果指標「ねりま安全・安心メールの登録件数」は前年度を下回っているのに、その減少の理由を分析した上で、記述するとよい。	
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・概ね妥当。 ・限られた予算の中で適切に評価をしている。	・限られた予算の中で事業を展開しており、適切に評価をしている。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・概ね妥当。 ・肝要なのは、事業を多岐に行うことではなく、区民に安心感を与えるためにいかに事務事業が役立ったかとの着眼点である。区民ニーズが多岐に及んでいることから、多岐の事務事業を展開する必要があるのであれば、この点がわかるように記載するとより説得力が増す。 ・評価理由は分かり易く適切である。	・評価理由は分かりやすく適切である。 ・肝要なのは、事業を多岐に行うことではなく、区民に安心感を与えるためにいかに事務事業が役立ったかとの着眼点である。区民ニーズが多岐に及んでいることから、多岐の事務事業を展開する必要があるのであれば、この点がわかるように記載するとより説得力が増す。	
要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。 ・取り組み内容を挙げて説明しており評価できる。	・取り組み内容を挙げて説明しており評価できる。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。	
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。	

総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・体感治安の悪化を考えると評価区分は「B」が妥当であるがその悪化の計量的な算出は困難と考えて(A)はやもえなし。 ・成果指標達成率が100%ではなく、区民の安心感が低下している以上A評価は難しいのではないか。 ・長期計画の成果指標達成が80.8%は施策が順調に進んでいるといえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体感治安の悪化を考えるとやや疑問であるが、長期計画の成果指標達成率が80.8%であることから、概ね妥当とする。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯・防火・防災に対する区民の満足度が未達成になっているが、犯罪件数が平成16年度以降減少しているのは、区や警察、町内会等の取組の成果と考えられる。積極的に評価していいと思う。 ・犯罪件数が減少しているのに区民の満足度が低いのは矛盾している。 ・もしA評価にするのであれば、区民の安心感が下がっているにも関わらずAをつけるより積極的な理由も記載しなくては説得力がない。 ・素朴に評価しており妥当である。 ・体感治安など、区民の抱く“安心感”についての評価結果をもっと重視すべきではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯・防火・防災に対する区民の満足度が未達成になっているが、犯罪件数が平成16年度以降減少しているのは、区や警察、町内会等の取組の成果と考えられる。 ・成果指標の目標が未達成にもかかわらず、「A」とする理由を分かりやすく記載するとよい。

(4)改革・改善案について

検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・結局は区民自身が守らないといけない。区民主体を協働の形で区が支援していく必要がある。 ・評価結果との関連性という観点での記載がされていない。 から に取り組むことで、評価結果のどの点を、どう補強・増強しようとしているのかがわかるように記載されたい。 ・公助、共助、自助に立って取り組もうとしている姿勢が良くわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公助、共助、自助に立って取り組もうとしている姿勢がよく分かる。 ・評価結果との関連性という観点から、 ~ に取り組むことで、評価結果のどの点を、どう補強・増強しようとしているのかがわかるように記載するとよい。
イ)内容の具体性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・重複しても事務事業で書かれている改善策を記載し、改革・改善策を具体的に、丁寧に説明することが区民・議会の理解が得られやすいと考える。 ・25年度 26年度の改善は23年度 24年度のコピーに過ぎない。 ・平成23～24年度を取組内容と、平成25～26年度を取組内容に、あまり差異がないように思われる。平成25～26年度については、もう少し具体的に記載した方が説得力が増すと思う。 ・今後の取り組み姿勢を具体的に表示しており評価される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取り組み姿勢を具体的に表示しており評価できる。 ・重複しても事務事業で書かれている改善策を記載し、改革・改善策を具体的に、丁寧に説明することで区民・議会の理解が得られやすくなる ・平成23～24年度を取組内容と、平成25～26年度を取組内容に、あまり差異がないように思われる。平成25～26年度については、もう少し具体的に記載した方が説得力が増すと思う。

(5)その他(総合的なコメントなど)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に満足度は、事件報道等によって変動する傾向が見られ、慎重な取り扱いが求められる。施策の成果については、区民1万人あたりの犯罪発生件数という究極のアウトカム指標を採用している成果指標 で説明できていると思う。 ・住みやすい区を創造している状況が区報だけでは幅広い区民によく伝わっていないように思う。 ・総合評価について、自己評価 = A疑問が多くあげられたが、Aを推すにはいまひとつ説得力にかけられる説明だったという印象をうけた。振り込め詐欺の防止啓発などを積極的に行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に満足度は、事件報道等によって変動する傾向が見られ、慎重な取り扱いが求められる。施策の成果については、区民1万人あたりの犯罪発生件数という究極のアウトカム指標を採用している成果指標 で説明できていると思う。 ・住みやすい区を創造している状況が、区報だけでは幅広い区民によく伝わっていないように思う。 ・総合評価について、評価をAとすることに疑問が多くあげられたが、Aとするにはいまひとつ説得力にかけられる説明だったという印象をうけた。振り込め詐欺の防止啓発などを積極的に行ってほしい。 ・刑法犯の中で振り込め詐欺の金額が大きく増加している。対策は他の部署と十分に連携して行ってほしい。 ・結局は区民自身が守らないといけない。区民主体を協働の形で区が支援していく必要がある。
-----	---	--

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名 412 みどりを愛しはぐむ活動を広げる					
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について					
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)		
葉っぱい基金のPR活動に関する経費は、現状でも区が直接執行している 施策を達成する手段として適当か	3	・緑化推進事務が協働事業として位置付けられていることでもあり、葉っぱい基金のPR活動に関する活動経費の一部は、区の事業経費として独立してあった方が区が主体的に協働事業に取り組めると考える。 ・概ね妥当。 ・みどりに関する他の施策(都市農地保全の施策等)との連携も含めて、目的を達成するための有機的な事務事業の関係がもっと明確にわかるとよい。	・概ね妥当だが、みどりに関する他の施策(都市農地保全の施策等)との連携も含めて、目的を達成するための有機的な事務事業の関係がもっと明確にわかるとよい。		
(2) 成果指標について					
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
		3	・施策名を概ね反映している。 ・概ね妥当。	・施策の目的に沿った指標である。	
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
		3	・公園や積立などわかりやすい指標である。 ・みどりのボランティアの定義や区民団体の要件等が明確にするとさらにわかりやすくなると思われる。 ・概ね妥当。	・ボランティア活動がされている公園数や基金積立額など分かりやすい指標であるが、 成果指標 はみどりのボランティアの定義や区民団体の要件等を明確にするとさらに分かりやすくなる。	
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
		3	・公園の管理者の高齢化を考えると一律2か所の増加は考えられない。 ・成果指標 について、年に2箇所ずつ増やすという数値の合理的根拠も付記した方が望ましい。 ・成果指標 については、記載のみでは、事務事業(緑化推進事務(葉っぱい基金・みどり機構))の成果指標は毎年の積立金とし、これについては大きく未達成であるにも関わらず、施策の成果指標では積立金累積額を指標としている点の関係が不明であり、留意が必要であろう。 ・ボランティア活動を支援してもっと目標値を高めるようにすべきである。	・成果指標 について、年に2箇所ずつ増やすという数値の合理的根拠も付記した方が望ましい。また、ボランティア活動を支援して、もっと目標値を高めるようにするとよい。	
(3) 評価について					
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)		
成果	ア)評価区分の妥当性	3	・概ね妥当。		
	イ)評価理由の妥当性	3	・概ね妥当。		
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・ の記述に住民管理を推進してきているという趣旨を織り込むと、区が効率化に向けて取り組んでいる姿勢が明らかになる。 ・概ね妥当。	・概ね妥当であるが、 の記述に住民管理を推進してきているという趣旨を織り込むと、区が効率化に向けて取り組んでいる姿勢が明らかになる。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・住民による公園管理は効率性があるが住民の高齢化に伴い新たなコストが発生するであろう。(ボランティアではなく民間の工業者に依存) ・概ね妥当。	・住民による公園管理は 効率性があり評価は概ね妥当であるが、将来 、住民の高齢化に伴い新たなコストが発生することが予測される。	

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・ に記述されている「制度見直し」については、見直しの内容が分かるような記述にした方が分かりやすい。 ・びいちゃんクラブの設立は良い。 ・概ね妥当。	・概ね妥当だが、 に記述されている「制度見直し」については、見直しの具体的な内容が分かるような記述にした方がよい。 ・びいちゃんファンクラブの設立は評価できる。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・「内部要因」と考えられるが説明がなかった。 ・概ね妥当。	・さらに外部要因の分析があるとよい。
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。	
総合評価	ア)評価区分の妥当性		3	・概ね妥当。	
	イ)評価理由の妥当性		3	・区民のボランティアばかりに頼らず協働や外部委託を視野に入れる必要がある。 ・成果指標 との結果のみではなく、このことにより、本件施策が、どのように達成されているかについても併せて記載してもらおうとより分かりやすい。 ・区民のボランティアばかりに頼らず、協働や外部委託を視野に入れるとよい。	・成果指標 との結果のみではなく、このことにより、本件施策が、どのように達成されているかについても併せて記載してもらおうとより分かりやすい。 ・区民のボランティアばかりに頼らず、協働や外部委託を視野に入れるとよい。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	・成果指標 の団体数は、23年度から増加しているものの、24年度は50にとどまっていることは、人口構成の変化によるもので深刻に受け取らなければならない。公園・花壇の管理を出来るだけ地元の区民の協力を得て行うという視点からの検討が必要である。 ・公園管理の後継者問題を言及する必要がある。 ・具体的にいくつかの記載があるが、上記「評価結果」とどのような関連性があるかについての記載を加えればさらにわかりやすくなる。	・具体的にいくつかの記載があるが、上記「評価結果」とどのような関連性があるかについての記載を加えればさらに分かりやすくなる。 ・公園管理の後継者問題にも言及があるとよりよい。
	イ)内容の具体性	3	・びいちゃんファンクラブの普及活動が足りない。 ・概ね妥当。	・概ね妥当だが、びいちゃんファンクラブの普及活動をさらに充実するとよい。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・練馬区にあって「みどりの保全」は心臓部にあたる重要な施策であり区民の関心も強い。練馬区が区全体としてどのようにこの問題に有機的・一体的に取り組んでいるか、施策間・事務事業間の相互連携も含めて俯瞰してアピールしつつ評価できることがのぞましい。 ・公園の緑化は、地域の防犯対策にも役立つので、関係部署や地域自治会等と協働してもっと進めるようにすべきである。 ・新たに公園を作る際には、地域住民の意見のもとユニークで特長あるものを期待したい。花壇のかたちや活用方法、また、管理の仕方など、地域住民のアイデアを積極的に取り込んでほしい。また、びいちゃんファンクラブのメリットについて、あまり区民に伝わっていないのでは。ファンクラブ活性化に期待したい。</p>	<p>・練馬区にあって「みどりの保全」は心臓部にあたる重要な施策であり、区民の関心も強い。練馬区が区全体としてどのようにこの問題に有機的・一体的に取り組んでいるか、施策間・事務事業間の相互連携も含めて俯瞰してアピールしつつ評価できることが望ましい。 ・公園の緑化は、地域の防犯対策にも役立つので、関係部署や地域自治会等と協働してもっと進めるようにすべきである。 ・新たに公園を作る際には、地域住民の意見のもとユニークで特長あるものを期待したい。花壇のかたちや活用方法、また、管理の仕方など、地域住民のアイデアを積極的に取り込んでほしい。また、びいちゃんファンクラブのメリットについて、あまり区民に伝わっていないのでは。ファンクラブ活性化に期待したい。 ・施策の成果指標では練馬みどりの葉っぱい積立金累積額を指標としているが、施策を構成する事務事業「緑化推進事務(葉っぱい基金・みどり機構)」の成果指標では毎年の基金積立額とし、大きく未達成である。施策と事務事業の成果指標の関係が不明であり、留意が必要である。 ・みどりのボランティア活動がされている公園数が、23年度から増加しているものの、24年度は50にとどまっていることは、人口構成の変化によるもので深刻に受け取らなければならない。公園・花壇の管理を出来るだけ地元の区民の協力を得て行うという視点からの検討が必要である。</p>
-----	---	---

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		425 リサイクルを進める		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	・概ね妥当。 ・いずれも施策を実現させる必要な事業である。	・いずれも施策を実現させる必要な事業である。	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	・概ね妥当。	
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	・概ね妥当。 ・登録団体の定義を付記した方がよりわかりやすくなる。 ・指標設定をもっと分かりやすくすると良い。	・概ね妥当であるが、登録団体の定義を付記した方がよりわかりやすくなる。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	・集団回収登録団体数の26年度目標は、長期計画では490団体であるが、施策評価では569団体としており、望ましいことである。長期計画に掲げる数値であっても柔軟に目標値を設定するようにしてはどうか。 ・登録団体数ではなくもっと分かり易い指標を考える必要がある。 ・成果指標 については、平成32年度の31%に達成するように毎年の目標値を設定していると記載しており、目標値の設定の根拠がわかるように示してあり評価できる。 ・概ね妥当。	・成果指標 の集団回収登録団体数の26年度目標は、長期計画では490団体であるが、施策評価では569団体としており、望ましいことである。 ・成果指標 については、平成32年度の31%に達成するように毎年の目標値を設定していると記載しており、目標値の設定の根拠が分かりやすく、評価できる。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	・概ね妥当。 ・「A」評価の理由として資源循環センターへの区民からの持ち込みが増えている点の説明等があったが、施策の重要ポイントである分別の徹底について、指標 の目標は達成していないことを重視すべきと考える。	・「A」評価の理由として、資源循環センターへの区民からの持ち込みが増えていることをあげているが、施策の重要ポイントである分別の徹底について、成果指標 のリサイクル率が目標を達成していないことの分析があるとなおよい。
	イ)評価理由の妥当性	3	・概ね妥当。 ・成果指標 と に分けて理由が記載されていてわかりやすいが、欲を言えば、成果指標を達成することで、どのように本施策の目的の達成に寄与したかがわかるような記載であればさらに望ましい。	・成果指標 と に分けて理由が記載されていてわかりやすいが、欲を言えば、成果指標を達成することで、どのように本施策の目的の達成に寄与したかがわかるような記載であればさらによい。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・効率性に関する説明が分かりにくく不十分であった。 ・概ね妥当。	・概ね妥当だが、より具体的な説明があるとなおよい。
	イ)評価理由の妥当性	3	・概ね妥当。 ・「経費的にも大幅に効率的な」とあるがどの程度経費が削減されたのか、また、「区民から粗大ゴミ資源循環センターに持ち込まれることにより効率のよい回収ができています」とあるが、どの数字とどの数字を比較して「効率のよい」と評しているのかがわかるような記載にするとさらに分かりやすくなる。	・概ね妥当だが、「経費的にも大幅に効率的な」についてどの程度経費が削減されたのか、また、「区民から粗大ゴミが資源循環センターに持ち込まれることにより効率のよい回収ができています」について、どの数字とどの数字を比較して「効率のよい」と評価しているのかがわかるような記載にするとさらに分かりやすくなる。
要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。

総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	・概ね妥当。	
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・区民による資源循環センターへの粗大ごみの持ち込み件数が増加したのが区の取組の成果であれば記述し、もっと区の取組による成果であることを言うてはどうか。 ・区民の活動を区が良く支援していることが分かった。 ・本施策にどのように寄与し、その結果、どのように総合評価に至ったのか、という道筋を明確に記載するとさらに分かりやすい。 ・概ね妥当。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当だが、施策の目的に対して、施策を構成する事務事業がどのように寄与し、その結果、どのように総合評価に至ったのか、という道筋を明確に記載するとさらに分かりやすい。 ・区民による資源循環センターへの粗大ごみの持ち込み件数が増加したのが区の取組の成果であれば記述し、もっと区の取組による成果であることを言うてはどうか。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
総合評価	ア)評価結果との関連性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙回収は民間委託を勧める。 ・「評価結果」との「関連性」がよりわかりやすい記載にすると説得力がます。 ・概ね妥当。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当だが、「評価結果」との「関連性」がよりわかりやすい記載にすると説得力が増す。
	イ)内容の具体性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの減量に関する説明が余りない。 ・概ね妥当。 	

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画は、施策424で「ごみの発生を抑制する」、同425で「リサイクルを進める」、同426で「ごみの適正処理を進める」となっており、「政策」では一体的に運用されることが想定されている。ごみ処理のコスト低減を図るため、資源ごみの抑制を含めて「ごみの減量」を図るため消費・物流体系の改変に取り組む時代に来ていると考える。リサイクルに区民一人当たり年間約4,000円支出するのはどう考えても大きい支出であるとする。 ・リサイクルを進めることはリサイクル率を高めると理解。つまりゴミが少なくなればリサイクルは減少するがリサイクル率は高まることがある。目標値の計算ではリサイクルは増加しないという落とし穴がある。 ・リサイクルセンターの利用について区民の意見を取り入れて利用度をもっと高めるようにすべきである。 ・ゴミの分別方法だけでなく、処理の費用を税金で負担しているという点をもっと積極的に区民にむけて啓発してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画は、施策424で「ごみの発生を抑制する」、同425で「リサイクルを進める」、同426で「ごみの適正処理を進める」となっており、「政策」では一体的に運用されることが想定されている。ごみ処理のコスト低減を図るため、資源ごみの抑制を含めた「ごみの減量」に向けた消費・物流体系の改変に取り組む時代に来ていると考える。リサイクルに区民一人当たり年間約4,000円支出するのはどう考えても大きい支出であるとする。 ・リサイクルを進めることはリサイクル率を高めると理解。つまりゴミが少なくなればリサイクルは減少するがリサイクル率は高まることがある。目標値の計算ではリサイクルは増加しないという落とし穴がある。 ・リサイクルセンターの利用について区民の意見を取り入れて利用度をもっと高めるようにすべきである。 ・ごみの分別方法だけでなく、処理の費用を税金で負担しているという点をもっと積極的に区民にむけて啓発してはどうか。 ・古紙回収は、民間に委託する方がよい。
-----	--	--

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		432 まちの美化を進める				
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について						
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)		
施策を達成する手段として適当か		3	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業として 2「あき地の管理適正化事務」があるが、施策の目的の中に位置づけられていない。 ・2つの手段は重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する2つの事務事業は重要だが、2「あき地の管理適正化事務」は施策の目的との関連は薄いように思う。 		
(2) 成果指標について						
指標全体の評価	代表性		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は、いずれも「美化推進」の代表となりうる。 ・施策を推進するためには、こうした事業に固執しないで他の方法も考慮すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は、いずれも「美化推進」の代表となりうる。 ・施策を推進するためには、こうした事業に固執しないで他の方法も検討するとよい。 	
	わかりやすさ		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度分かりやすい。 ・成果指標の美化活動団体の登録世帯数の増加と成果指標の歩行者禁煙率の減少が、目標達成に具体的にどのような効果があるのかが分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度理解できるが、成果指標の美化活動団体の登録世帯数の増加と成果指標の歩行者禁煙率の減少が目標達成に具体的にどのような効果があったのか説明があるとよい。 	
	目標値の妥当性		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の目標設定で、「区内全世帯の4割」とする合理的な根拠が不明で妥当かどうかの判断がむずかしい。 ・目標値の根拠となっている数字が理解できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の目標設定で、「区内全世帯の4割」とする合理的な根拠の説明があると分かりやすい。 	
(3) 評価について						
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)		
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・達成率の根拠が良く分からない。一面的な評価になっている。 			
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動団体の登録世帯数が減ったが登録団体数が増えたことで区内の美化活動の水準が維持できているというが、登録という形式的な数量のみで目的の達成度合いが図れるのかどうかは疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動団体への登録という形式的な数量のみではなく、美化活動の水準を維持できたことの具体的な説明があるとより納得できるものとなる。 		
効率性	ア)評価区分の妥当性	3				
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・登録世帯数の減少が本施策にどのような影響を与えているかについての記述が求められる。 ・コストの説明にはある程度納得。 ・具体的な数字を示して説明できないか検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コストの説明にはある程度納得できたが、登録世帯数の減少が本施策にどのような影響を与えているか、具体的な数字を示して説明があると分かりやすい。 		
要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3			
	外部要因	記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化団体の世帯数が落ち込んでいる(87,492世帯→77,285)原因は、高齢化であるとしているが、対前年度90.9%については説明できない。登録世帯数の減少が本施策にどのような影響を与えているかについての記述が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化団体の世帯数が落ち込んでいる(87,492世帯→77,285)原因は、高齢化であるとしているが、対前年度90.9%についての説明も必要である。登録世帯数の減少が本施策にどのような影響を与えているかについての記述があるとよい。 	
	複合要因	記載内容の妥当性	-			

総合評価	ア)評価区分の妥当性	3		
	イ)評価理由の妥当性	3	<p>・環境美化活動は、弱体化していることを認められた上で、施策と事務事業の有効な実施を考える必要がある。例えば、ボランティア・有志による見回り等、美化活動の実施。</p> <p>・定点調査で評価されても調査地点を変えれば説明通りとは言えないのではないが。</p>	<p>・環境美化活動は弱体化してきていると思われるので、施策と事務事業の有効な実施を考えるとよい。例えば、ボランティア・有志による見回り、美化活動の実施。</p> <p>・定点調査だけでなく、調査地点を変えて評価することも必要である。</p> <p>・ポイ捨ての調査は、調査する場所を複数の条件(駅からの距離、住宅地など)から選定して行うほうがよりよい。</p>

(4)改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
総合評価	ア)評価結果との関連性	3	<p>・「取組内容」と「取組結果」が一致していない。何が「達成」という評価なのか分からない。</p>	<p>・「取組内容」と「取組結果」を連動させて記述すると理解しやすくする。</p>
	イ)内容の具体性	3	<p>・「25年度から26年度」の取組みについて具体的な記述が求められる。</p> <p>・自転車誘導業務とマナーアップ指導業務の一元化についての説明が不十分。もっと成果の向上を目指すべき。</p> <p>・少ない経費で行うために、自転車誘導業務との一元化を検討したが、できなかったということであれば達成したとはいえないのではないが。</p>	<p>・自転車誘導業務とマナーアップ指導業務の一元化についての具体的な説明があるとよい。また、さらに成果の向上を目指した改善の検討が望ましい。</p> <p>・「25年度から26年度」の取組みについて、より具体的な記述があるとよい。</p>

(5)その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・空き地の草刈りや落書きを消す作業は、いってみれば、最低限のレベルを保つためとあってよい。「よりレベルの高いまちの美化」を行うための事務事業の内容を是非検討してもらいたい。</p> <p>・街の美化を進める中で、とりわけ公園の美化は、防犯、防災のためにも必要である。地域によっては、公園の美化をおざなりにしているところもあるので、環境課と道路公園課が地域自治会などと協働で安全、安心な街づくりをしてほしい。</p> <p>・ポイ捨ての調査は、調査する場所を複数の条件(駅からの距離、住宅地など)から選定して行ってほしい。</p>	<p>・空き地の草刈りや落書きを消す作業は、いってみれば、最低限のレベルを保つためとあってよい。「よりレベルの高いまちの美化」を行うための事務事業の内容を是非検討してもらいたい。</p> <p>・街の美化を進める中で、とりわけ公園の美化は、防犯、防災のためにも必要である。地域によっては、公園の美化をおざなりにしているところもあるので、環境課と道路公園課が地域自治会などと協働で安全、安心な街づくりをしてほしい。</p>
-----	---	--

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		453 災害に強いまちをつくる		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)		コメント・改善点(提言版)
施策を達成する手段として適当か	3	・災害対策の手段として妥当である。		・災害対策の手段として妥当である。
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	・ 成果指標 とともに 成果を測定する指標 としては狭い。施策の達成度を測定できる 成果指標を設定すべき 。 ・成果指標を代表している。	・ 代表性は高いといえるが 、 施策の達成度を測定するにはやや狭いと思われるのでさらに検討した方がよい。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	・指標としては わかり易い方である 。	・指標としてはわかり易い。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		2	・ 密集住宅市街地整備促進事業の達成面積と特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断件数 はともに 累計値で減少することのない数値 であり、「増加」とすることに 意義を見い出せない 。 ・ 増加率も取りいれた方がよい 。 ・ 具体的な指標をとることの難しさも理解できるが、やはり指標をとるからには、「増加」だけでは指標とする意味がない 。 ・ 事業対象のボリュームを示す指標は、「増加」ではなく数字化することが望ましい 。	・ 具体的な指標をとることの難しさも理解できるが 、 密集住宅市街地整備促進事業の達成面積と特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断件数 はともに 累計値で減少することのない数値 であり、「増加」とすることに 意義を見い出せない 。 増加率といった指標を取りいれた方がよい 。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)		コメント・改善点(提言版)
成果	ア)評価区分の妥当性	3	・ 概ね妥当 。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・ 施策評価の成果指標からは施策の「成果」を判断できない。事務事業の成果をみると、1「密集住宅市街地整備促進事業推進事務」は、対前年度の数値からみて「着実に進捗している」といえない。また、5「耐震化促進関連事務」は全体が「着実な増加」をしているとまではいえない 。 ・ 85%で達成したと言えるか疑問である。緊急の案件なので100%近い達成が求められるのではないか 。 ・ 具体的な数値を定めず、増加したことをもって「目標を達成し」と評価するのであれば、何をもって「着実に進捗」または「着実に増加」と評価したかを具体的に記載すれば、もっと説得力が増す 。	・ 具体的な数値を定めず、増加したことをもって「目標を達成し」と評価するのであれば、何をもって「着実に進捗」または「着実に増加」と評価したかを具体的に記載すれば、もっと説得力が増す 。 ・緊急の案件なので100%近い達成を目指してほしい。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・ 概ね妥当 。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・ 評価表の欄を有効に活用し、数値をあげて説明すべき。事務事業評価の記述と分担することによって説得力のある記述が可能になると考える 。 ・ 外部委託をさらに進める必要がある 。 ・ 「適切なコスト」についても、もっと具体的に記載することでわかりやすくするよう努力すべきである 。	・ 「適切なコスト」などについて、評価表の欄を有効に活用し、具体的に数値をあげて説明すると分かりやすくなる。また、事務事業評価の記述と分担することによってさらに説得力が高まる 。 ・ 外部委託をさらに進める方がよい 。

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・記述が具体的でなく、説得力に欠ける。	・さらに具体的に記述するとより納得できるものとなる。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。	
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・概ね妥当。	
総合評価	ア)評価区分の妥当性		3	・概ね妥当。	
	イ)評価理由の妥当性		3	・用地取得などである程度努力が認められる。 ・「増加により」、「一層進む」という記載にとどまるのではなく、もっと具体的に掘り下げた記載を心がけ、どのように「高い事業効果」をあげることができたかについてもっと説得的に説明すべきであろう。	・用地取得などで努力が認められるが、「増加により」、「一層進む」という記載にとどまるのではなく、どのように「高い事業効果」をあげることができたかについてもっと具体的に記載があるとよい。

(4)改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	・改革・改善案の記述で求められているのは、ノウハウの蓄積や研修への積極的な参加ではなく、5つの事務事業を効果的、効率的に実施するとともに、施策の目的を達成のために、事務事業に過不足があれば、増やすか、または削減することについて書くのではないが。 ・事務事業を効率的に行うための職員のスキルアップに期待する。	・改革・改善案には、ノウハウの蓄積や研修への積極的な参加といったことだけではなく、事務事業の効果的、効率的な実施や、施策の目的達成のために事務事業の過不足はないかといったことについても記述があるとよい。 ・事務事業を効率的に行うための職員のスキルアップに期待する。
	イ)内容の具体性	3	・記述されていることは、施策の責任者として努力すべきことが書かれているに過ぎないと思う。	

(5)その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・成果の基準となるべき数値が毎年変動する可能性があるとの理由で、具体的な数値を成果指標としてとらないのは本末転倒である。常に、目標値をイメージし、そのためになすべき作業を想定し、上記目標値に至るプロセスのどのあたりまで達成しているのか、というイメージを常に持ちながら事務事業または施策を遂行すべきであろう。</p> <p>・災害に強い町づくりの基準を分かり易く示し、多くの区民の協力が少しでも多く得られよう取り組んで欲しい。</p> <p>・大きな公園でなくても、災害時に簡易トイレになる仕組みや、防災かまどなど設置し、公園の多方面からの有効活用をおこなってほしい。タコ公園やばなな公園のようにすべての公園に何かしらのテーマをもった取組を行い、練馬のまちづくりの強みにしてほしい。</p>	<p>・成果の基準となるべき数値が毎年変動する可能性があるとの理由で、具体的な数値を成果指標としてとらないのは本末転倒である。常に、目標値をイメージし、そのためになすべき作業を想定し、上記目標値に至るプロセスのどのあたりまで達成しているのか、というイメージを常に持ちながら事務事業または施策を遂行するとよい。</p> <p>・災害に強い町づくりの基準を分かり易く示し、多くの区民の協力が少しでも多く得られよう取り組んでほしい。</p> <p>・大きな公園でなくても、災害時に簡易トイレになる仕組みや、防災かまどなど設置し、公園の多方面からの有効活用を行ってほしい。タコ公園やばなな公園のようにすべての公園に何かしらのテーマをもった取組を行い、練馬のまちづくりの強みにしてほしい。</p>
-----	---	---

〔評価〕 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		461 公共交通を充実する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	概ね妥当。		
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの成果指標はともに「みどりバス」に関する指標であって、施策を代表しているとは言えない。事務事業 1、2、3、4に係わる成果指標(目標)を設定し、施策の達成度を見るべき。 ・みどりバスの視点のみでは、「区民の交通利便性を向上する」という目標の成果が図れないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの成果指標はともに「みどりバス」に関する指標なので、このほかの事務事業に係わる成果指標を設定して施策の達成度を見る方がよい。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	みどりバスだけでは全体を理解できない。	
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の24年度の目標値は妥当であるとしても、26年度の目標値(24人)は、高すぎるのではないか。 ・増加率などが欲しい。 ・年間一人ずつ増えていくこととする合理的な根拠が見出しがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の年間一人ずつ増えていくとする目標値の合理的な根拠が分かるように説明があるとよい。また、26年度の目標値(24人)は、高すぎるように思う。 ・成果指標に増加率などがあるとよい。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な成果とは言えない。 ・区民の満足度も加味して評価すべきでないか。 	区民の満足度も加味して評価するとよい。
	イ)評価理由の妥当性	3	概ね妥当。	
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	概ね妥当。	
	イ)評価理由の妥当性	3	成果が見られる説明が必要。	成果が見られる具体的な説明があるとよい。
要因分析	内部要因 記載内容の妥当性	3	概ね妥当。	
	外部要因 記載内容の妥当性	3	概ね妥当。	
	複合要因 記載内容の妥当性	3	概ね妥当。	
総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	概ね妥当。	
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が抽象的。 ・交通のリンクージュを詳しく説明していない。 ・区民に本当に役に立っているのかを再度調査する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ネットワークの接続状況など、具体的な説明があると分かりやすくなる。 ・区民に役に立っているのか再度調査しながら事業を進めるとよい。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	・概ね妥当。	
イ)内容の具体性		3	<ul style="list-style-type: none"> ・記述が具体的ではない。区としての取組については、施策を構成する各事務事業評価表と重複しても記載すべきである。 ・大江戸線の延伸とライトライナーの実現に期待する。 ・みどりバスの空白地帯対策と民間バスとの協働推進の可能性。 ・この1年間でどのような成果があがったのが不明である。具体的に記載しなければ「成果があげつつある」のかどうか判断できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区としての取組については、施策を構成する各事務事業評価表と重複しても記載した方がよい。 ・大江戸線の延伸とイトライナーの実現に期待する。 ・みどりバスの空白地帯対策と民間バスとの協働推進の可能性についても検討するとよい。 ・「成果をあげつつある」とする具体的な理由の記載があると分かりやすい。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な交通環境を作っていく上で区(基礎自治体)の果たす役割は大きいものがあると考ええる。区は直接路線等の運行に係わっていなくても、積極的に区民の交通の利便性の向上のために事業者働きかけていくことが将来ともに求められる。 ・以前から計画されていた井荻 東伏見間の鉄道高架化はいつ実現できるのか。(ひどい開かずの踏切は周辺の区民の最大の関心事である。) ・目的が「区民の交通利便性」なので、区民全体からみてどの程度達成されているか、と言う観点の指標は考えられないか。どうもみどりバスにだけシフトしている印象が否めない。練馬区民全体に対する視点、たとえば、「交通空白地域の住民数/練馬区民」はどの程度の割合なども把握しながら、バランスのよい施策として遂行することが望ましい。 ・みどりバス路線の更なる充実を期待する。 ・資料の改善をはかっている点は大変評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な交通環境を作っていく上で区(基礎自治体)の果たす役割は大きいものがあると考ええる。区は直接路線等の運行に係わっていなくても、積極的に区民の交通の利便性の向上のために事業者働きかけていくことが将来ともに求められる。 ・以前から計画されていた井荻 東伏見間の鉄道高架化はいつ実現できるのか。(ひどい開かずの踏切は周辺の区民の最大の関心事である。) ・目的が「区民の交通利便性」なので、区民全体からみてどの程度達成されているか、と言う観点の指標は考えられないか。どうもみどりバスにだけシフトしている印象が否めない。練馬区民全体に対する視点、たとえば、「交通空白地域の住民数/練馬区民」はどの程度の割合なども把握しながら、バランスのよい施策として遂行することが望ましい。 ・みどりバス路線の更なる充実を期待する。 ・資料の改善をはかっている点は大変評価できる。
-----	--	--

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		473 だれもが安心して暮らせる住まいづくりを促進する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の運営としては適切であると言えても、施策の目的(高齢者の住まいの確保と居住環境の向上や対象者数(7200世帯)からみて、手段(事務事業の構成)が適切とは言えない。現在の社会経済環境からみて、どのような手段が求められているか、基本に立ちかえって手段としての事務事業の構成を検討すべき。 ・事務事業が先にありきの印象をぬぐえない。施策の目的を効率よく達成するために大胆に組み立て直すべきではないか。事務事業 1と2の違いや所轄担当部を分けている意味について、理解ができなかった。 ・衣食住に困窮する高齢者の内、住環境を支援しても衣食はどうなっているのか。 ・高齢者等の「等」についての施策はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> →施策の目的(高齢者の住まいの確保と居住環境の向上)や対象者数(7200世帯)からみて、手段(事務事業の構成)が適切か、また、現在の社会経済環境からみて、どのような手段が求められているか、手段としての事務事業の構成を検討した方がよい。 →施策の目的を効率よく達成するために大胆に組み立て直した方がよい。事務事業 1と2の違いや所轄担当部を分けている意味について分かりにくい。 →高齢者等の「等」についての施策はどうなっているのか分かりにくい。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
	わかりやすさ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度理解できる。 ・「区内住宅」、「高齢者のための設備」が抽象的なので分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> →ある程度理解できる。 ・「区内住宅」、「高齢者のための設備」について、具体的に説明があるとより分かりやすくなる。
	目標値の妥当性	2	<ul style="list-style-type: none"> ・対象が約7,200世帯(事務事業 1は15,000人、事務事業 2は約12,000世帯)とされているにも関わらず、140戸以外の高齢者のことは蚊帳の外になっている印象を受ける。 ・成果指標の目標値を50%とする合理的な根拠が不明であるし、成果指標の目標値を140戸を固定的に目標値とする理由も不明。 	<ul style="list-style-type: none"> →対象が約7,200世帯(事務事業 1は15,000人、事務事業 2は約12,000世帯)とされているにも関わらず、140戸以外の高齢者のことは蚊帳の外になっている印象を受ける。 ・成果指標の目標値を50%とする合理的な根拠が不明であるし、成果指標の目標値を140戸を固定的に目標値とする理由も不明。
意見ではなく質問となっており、提言にはそぐわないので事務局で削除しました。				
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成	7)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標」の立て方が分かりにくい。 	
果	1)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の運営としては適切であるが、施策の目的からして「収入の低い方」から入れるということは、絶対量が不足しているのであって、施策の成果をA(目標を達成し十分な成果があった)とすることはできない。 	

効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・コストを比較する物差しが分からない。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・コストの説明は理解できる。 ・「また、民間・・・」以降の説明がよく分からない。	・コストの説明は理解できるが、「家賃補助事業」はさらに詳しく説明があるとよい。
要因分析	内部要因 記載内容の妥当性	3	・「高齢者施策」とはどのようなものが不明。 ・「高齢者施策を十分活用し」とあるが、具体的にどう活用したから、いかなる効果があがったのかの記述がほしい。	・「高齢者施策を十分活用し」とあるが、具体的にどう活用したから、いかなる効果があがったのかの記述があるとよい。
	外部要因 記載内容の妥当性	3	・評価の理由として、東京都住宅供給公社・都市再生機構による住宅供給の点があげられているが、区ではない主体が行う施策について、それがどのように本施策に寄与しているのか、という具体的記述がない。どの程度検証されているのか。	・評価の理由として、東京都住宅供給公社・都市再生機構による住宅供給の点があげられているが、区ではない主体が行う施策について、それがどのように本施策に寄与しているのか、具体的な記述があると分かりやすい。
	複合要因 記載内容の妥当性	-		
総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	・評価の基準が分からない。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・本欄の記述等から有益な事業であることは認められるが、総合評価をAとするには施策が効果的に実施され、成果を上げているとする理由の記述が求められる。	・本欄の記述等から有益な事業であることは認められるが、施策が効果的に実施され、成果を上げているとする具体的な理由があるとより納得できるものとなる。

(4)改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	・「平成23年度～平成24年度」の達成状況が、「A達成」とあるが、具体的に説明されたい。 ・「平成23年度7戸、平成24年度8戸・・・」とあるがこのように小さい数値で達成といえるのかが不明。	・「平成23年度～平成24年度」の取組結果に「平成23年度7戸、平成24年度8戸・・・」とあるが、これをもって達成とした理由を具体的に記載した方がよい。
	イ)内容の具体性	3	・「検討した」とあるが、どのように検討してどのような見解に至ったのか、スペースの許す限り具体的に記述すべき。	・「検討した」とあるが、どのように検討してどのような見解に至ったのか、スペースの許す限り具体的に記述した方がよい。

(5)その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・高齢化社会に向け、益々重要となる施策であると思われる。それにも関わらず、施策を実現する事務事業として非常にわかりにくくなっているし、現状維持の印象が否めない。もっと区民に分かりやすく説明できるよう、事務事業の位置づけを整理していただきたい。</p> <p>・団塊の世代が高齢化を迎えている中で、「高齢期の住まいのあり方」を“研究”するレベルは過ぎている。持家高齢者も含めた高齢者の「住居、医療、介護」を一体的に進める方策を「高齢者の住まいづくり」の柱にして取り組んでほしい。</p>	<p>・高齢化社会に向け、益々重要となる施策であると思われる。それにもかかわらず、施策を実現する事務事業として非常にわかりにくくなっているし、現状維持の印象が否めない。もっと区民に分かりやすく説明できるよう、事務事業の位置づけを整理してほしい。</p> <p>・団塊の世代が高齢化を迎えている中で、「高齢期の住まいのあり方」を“研究”するレベルは過ぎている。持家高齢者も含めた高齢者の「住居、医療、介護」を一体的に進める方策を「高齢者の住まいづくり」の柱にして取り組んでほしい。</p>
-----	---	---

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		113 学齢期の子どもの成長を支える		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	4	・きめ細かく児童の状態を把握する事務事業を追加することが望ましい。	・ 妥当性は高いが きめ細かく児童の状態を把握する事務事業を追加することが望ましい。	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	・全体としてサービスを必要とする人数を示して、サービスがどれだけ行き届いているのかを把握できるようにすることが必要。 ・居場所の確保も大事だが、区民はさらに児童の健全育成がどうなっているかに関心があるので関連の指標を持ってくる事が望ましい。	・全体としてサービスを必要とする人 人全体 の人数を示して、サービスがどれだけ行き届いているのかを把握できるようにすることが 望ましい 。 ・居場所の確保も大事だが、区民は、さらに児童の健全育成に どのように役立っているか ということの方により関心があるので、関連の指標を設定することが望ましい。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	・成果指標の延べ人数は、達成度を示す数値としては適当ではない。 ・学童の居場所の確保に目が行きすぎているようで、区民から見て大事な育成が見過ごされている。 ・成果指標を3つ定め、総合的に評価している点が良い。	・成果指標を3つ定め、総合的に評価している点が良い。 ・成果指標は延べ人数ではなく、達成度を示す数値とすることが望ましい。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	・ほぼ100%近く達成して、それから進捗しないのであれば、改善点を明らかにするため、指標を見直す必要がある。 ・事務事業の数値を並べただけでは、工夫が認められない。地域差の解消も目標に出来るように、区民の本施策に対する反応、希望(満足度)などを指標とすべきである。	・ほぼ100%近く達成し、進捗しないのであれば、改善点を明らかにするため、指標を見直すことが望ましい。 ・地域差の解消も目標に出来るとよいし、区民の本施策に対する反応、希望(満足度)などを指標とする工夫を検討してほしい。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	・背伸びしていない評価で妥当である。	・背伸びしていない評価で妥当である。
	イ)評価理由の妥当性	3	・評価の根拠を示す必要がある。 ・3つの事務事業の説明を併記しただけでは努力が認められない。全体のレベルをどう上げるかの工夫が欲しい。例えば、地域差を解消する活動の検討と実施などが挙げられる。 ・少数事例でも、質の高い事例は評価結果に記載してはどうか。	・評価の根拠を示す必要がある。 ・施策の目指す状態に向けて、全体のレベルをどう上げるかの工夫が欲しい。例えば、地域差を解消する活動の検討と実施などが挙げられる。 ・少数事例でも、質の高い事例は評価結果に記載してはどうか。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・評価理由にそぐわないレベルである。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・Aとするには説明データが不十分である。	
要因分析	内部要因 記載内容の妥当性	3	・いまだ内在する問題点に関する内部要因についての説明がない。	
	外部要因 記載内容の妥当性	3	・問題を解決する外部要因についても記載が欲しい。	・問題の解決につながる外部要因についても記載があるとよい。
	複合要因 記載内容の妥当性	-	・説明が不足している。	

総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・努力していることはわかるので、指標に工夫が必要。 ・背伸びしていない評価で妥当である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 ・指標の設定を工夫することが望ましい。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今の指標のままでは待機児童の解消や学童クラブの地域差の解消という質的な問題点の解消は無理と思われる。さらなる検討を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の指標のままでは、待機児童や学童クラブの地域差という質的な問題点を測るのは難しいので、さらなる検討を期待する。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果を受けて、課題とされる地域偏在にどう対応しているかを示す必要がある。 ・背伸びしていない評価で妥当である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 ・評価結果を受けて、課題とされる地域偏在にどう対応しているかを示すことが望ましい。
	イ)内容の具体性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な問題である学童クラブの待機児童についての対応について、より具体的な記載があったほうがよい。 ・区民の要望、意向をより深く掴むことが必要と思われる。例えば、全体または行事ごとの意見の収集・把握がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な問題である学童クラブの待機児童への対応について、より具体的な記載があったほうがよい。 ・区民の要望、意向をより深く掴むことも必要と思われる。例えば、全体または行事ごとの意見の収集・把握がよい。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の声を直接聞く場がもっとあればよい。 ・重要な施策であるため、総数等で表れにくい部分について、区民に伝わりやすいような記載のし方を工夫してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の声を直接聞く場がもっとあればよい。 ・重要な施策であるため、総数等で表れにくい部分について、区民に伝わりやすいような記載のし方を工夫してほしい。 ・成果に関する評価が、事務事業の説明のみにとどまっている。施策自身の目的や目指す状態に基づいて、成果指標を設定し、評価することが求められる。
-----	---	--

〔評価〕 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		121 地域の特色を活かした教育を推進する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かすことが難しいのであれば、施策の文言をより現実的に変えた方がいいのではないか。 ・関係が希薄な事業も含まれているが、施策体系の構造上の問題なので、是とする。 ・4「教職員福利厚生事務」や 7「外国人学校児童生徒保護者負担軽減事務」などは適当でないと思われるので別の施策に移し、この施策ではもっと施策目的に合った事務事業を増やすべきだ。 ・事務事業の内容は、地域社会との連携が中心である。目標の文言として「地域の特色を活かした」は必ずしもなくてもよいのではと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係が希薄な事業も含まれているが、施策体系の構造上の問題なので、是とする。 ・4「教職員福利厚生事務」や 7「外国人学校児童生徒保護者負担軽減事務」などは適当でないと思われるので別の施策に移し、この施策ではもっと施策目的に合った事務事業を増やすことが望ましい。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
	代表性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加を重視した指標が工夫されているが、本当の目的は教育の改善ではないか。子供たちの学習達成度や態度、あるいは住民の意識に変化がなければ、住民の参加数が増えるだけでは意味はない。その変化を示す指標を一つ設定することが望ましい。 ・地域の特色を活かした教育の推進という施策名に沿っている。 ・地域住民の関与度合いが成果指標の中心になっているが、実際の施策の目標である「地域の特色を生かした特色ある教育」が推進されているか、「子どもの健全な成長が支援」されているかなどを測る指標を設定する事が望ましい。 ・多方面から評価できるように指標が三つあるのはよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多方面から評価できるように指標が三つあるのはよい。 ・住民参加を重視した指標が工夫されているが、本当の目的は教育の改善ではないか。子供たちの学習達成度や態度、あるいは住民の意識に変化がなければ、住民の参加数が増えるだけでは意味はない。その変化を示す指標を一つ設定することが望ましい。
	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
	わかりやすさ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち、住民側の変化を示す指標があるとより分かりやすい。 ・すべて数値化されている指標で分かりやすい。 ・施策実施の準備のような指標が中心なので施策目標への効果が判りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち、住民側の変化を示す指標があるとより分かりやすい。 ・学校応援団構成員の増や学校安全安心ボランティアの稼働率など、施策実施の実施体制の整備状況を測る指標が中心となり、その実施体制の活動によって施策目標がどの程度達成したのかを測る指標となっていない。
	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
	目標値の妥当性	2	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、すでに目標をはるかに超えて達成しているのを変更していないのは、目標値としては不適切。 ・成果指標 は、毎年同じ目標値となっているが、その根拠がわかりにくい。 ・目標達成後も一定のままとか、実績が上がらないままの目標とか、整合性が見られないので、指標の設定方法の改良が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 は、すでに目標をはるかに超えて達成しているのを変更していないのは、目標値としては不適切。 ・成果指標 は、毎年同じ目標値となっているが、その根拠がわかりにくい。

(3) 評価について					
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点	コメント・改善点	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	・目標設定を変えると、成果はもっとあがっていることになるのではない。 ・事業によってバラつきあり、全般を見渡してこの評価は妥当と思われる。 ・背伸びしていない評価でよい。	・事業によってバラつきがあり、全般を見渡してこの評価は妥当と思われる。 ・背伸びしていない評価でよい。 ・目標設定を変えると、成果はもっとあがっていることになるのではないか。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・評価理由の と を評価。評価理由 については理由に少々問題あり。 ・現状確認だけでなく、施策目標達成への改善の意欲が望まれる。 ・成果として住民の参加状況など投入の指標しか挙げられていないので、費用対効果が理解できない。	・評価理由の と は評価できる。評価理由については妥当性に少々問題あり。 ・現状確認だけでなく、施策目標達成への改善への意欲が望まれる。 ・コストをどう見るかによって評価が分かれると思うが、工事費用を除けばボランティア中心なので、おおむね妥当と判断。	
	ア)評価区分の妥当性	3	・コストをどう見るかによって評価が分かれると思う。工事費用を除けばボランティア中心なので、おおむね妥当と判断。 ・まだAとするほどの成果が出ていない。	・成果として住民の参加状況などは理解できるが、費用対効果は判断しづらい。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・地域住民の支援によりコストが抑えられているのであり、事業の進め方(目標に向かっての活動)の効率性についても更なる改善が望ましい。	・地域住民の支援によりコストが抑えられているが、事業の進め方(目標に向かっての活動)の効率性についても更なる改善が望ましい。	
要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・要因分析はよくできているが、それが改善策に反映されると、評価の意義が高まるので、評価 要因分析 改善策の流れが明確な評価結果となることが望まれる。 ・ほぼ問題ないレベルに記述されている。 ・施策目標についても言及することが望ましい。	・ほぼ問題ないレベルに記述されている。 ・施策目標についても言及することが望ましい。 ・要因分析はよくできているが、それが改善策に反映されると評価の意義が高まるので、評価 要因分析 改善策の流れが明確な評価結果となることが望ましい。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・ほぼ問題ないレベルに記述されている。 ・施策目標についても言及することが望ましい。 ・現状のままでは、伸びがあまり期待できないと思われるため、近隣の大学等に協力を依頼する等して参加者数の増加は目指せないのか。管理が各学校単位ということであるため、仲介をする等の支援は可能ではないか。	・ほぼ問題ないレベルに記述されている。 ・施策目標についても言及することが望ましい。
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・ほぼ問題ないレベルに記述されている。 ・施策目標についても言及することが望ましい。	・ほぼ問題ないレベルに記述されている。 ・施策目標についても言及することが望ましい。
総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	・ある一定の成果をあげていることから、妥当と思われる。 ・背伸びしていない評価でよい。	・ある一定の成果をあげていることから、妥当と思われる。 ・背伸びしていない評価でよい。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・簡潔であるが、必要な記述は満たされている。 ・何故地域住民の参加が十分出来ていないのかを反省し、原因を分析することで更なる成果を上げることが望ましい。	・簡潔であるが、必要な記述は満たされている。 ・何故地域住民の参加が十分出来ていないのか原因を分析することで、更なる成果を上げることが望ましい。	
(4) 改革・改善案について					
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
	ア)評価結果との関連性	3	・地域住民の参加が十分でないことに対する対策が前面に出ていないと思われる。 ・取組内容との整合性からは未だAとするには時期尚早である。	・地域住民の参加が十分でないことに対する対策が前面に出てくるとよい。	
	イ)内容の具体性	3	・継続という記述が大半で、新たな取り組みがあまり見られない。 ・色々な改善が込められており、今後に期待する	・新たな取り組みを記述することが望ましい。 ・色々な改善が込められており、今後に期待する。 ・現状のままでは、伸びがあまり期待できないと思われるため、近隣の大学等に協力を依頼する等して参加者数の増加は目指せないのか。管理が各学校単位ということであるため、仲介をする等の支援は可能ではないか。	

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・共働きは以前から格段に増えているとは思われないのであるが、専業主婦とサラリーマンの夫と子という世帯が標準ではなくなった現実を踏まえた事業の推進方法に、根本から思想を変換することが必要と思われた。</p> <p>・地域社会の実態を把握する客観的な調査が必要(共稼ぎとボランティアの関係など)と考える。</p> <p>・地域性を活かすという面では、大学等のある地域はそういったところの交流も地域性を活かすということにつながるのではないか。</p>	<p>・共働きは以前から格段に増えているとは思われないのであるが、専業主婦とサラリーマンの夫と子という世帯が標準ではなくなった現実を踏まえた事業の推進方法に、根本から思想を変換することが必要と思われた。</p> <p>・地域社会の実態を把握する客観的な調査が必要(共稼ぎとボランティアの関係など)と考える。</p> <p>・地域性を活かすという面では、大学等のある地域はそういったところの交流も地域性を活かすということにつながるのではないか。</p>
-----	---	---

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		125 児童・生徒の健やかな体の成長を促す	
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について			
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの事務事業の寄せ集め観がある。 ・他の関連施策との関係で、事業の配分があると思うので、若干の疑問はあるもののおおむね妥当と判断した。 ・小中学校の「児童・生徒の健康と体力の現状の結果」を測定する事務事業が同じ政策内の他の施策(123)にあるとのことなので、それも関連させて提示することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の関連施策との関係で、事業の配分があると思うので、若干の疑問はあるもののおおむね妥当と判断した。 ・小中学校の「児童・生徒の健康と体力の現状」を測定する事務事業が同じ政策内の他の施策にあるとのことなので、それも関連させて提示することが望ましい。 ・たくさんの事務事業の寄せ集め観がある。
(2) 成果指標について		説明を聞いてのコメントとなっているので文言修正しました。	
指標全体の評価	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝ごはん調べ」はおもしろいが、それと施策とどうつながるかがわからない。指標設定は難しいと思うが、給食を委託することや、就学前検診の受診率が、子供の健やかな成長につながるわけではなく、因果関係が不明。 ・成果指標 については、代表的かといわれると、かなり疑問がある。成果指標 については委託することが目標の達成なのかと思われるし、就学時検診受診は義務なのだから目標とすることが疑問。 ・成果指標 とは、事務事業評価表から持って来ており、内容も施策実施の準備事業のような行動指標で工夫が見られない。施策目的の成果を測る為に同じ政策内にある「児童の健康と体力の現状の結果」を成果指標に持って来ることが望ましい。 ・成果指標 については、受診が義務であるならば、概ね目標が達成していることから、今後は成果指標から外すか、受診率と他のデータ(都のものを含めた)とクロス集計する等して新たな指標を検討すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝ごはん調べ」はおもしろいが、それと施策とどうつながるかがわからない。指標設定は難しいと思うが、給食を委託することや、就学前検診の受診率が、子供の健やかな成長につながるわけではなく、因果関係が不明瞭。 ・成果指標 については、代表的かといわれると、かなり疑問がある。成果指標 については委託することが目標の達成なのかと思われるし、 の就学時検診受診は義務なのだから目標とすることが疑問。 ・成果指標 は、事務事業評価表の成果指標を用いており、内容も施策実施の準備事業のような行動指標で工夫が見られない。施策目的の成果を測るために「児童の健康と体力の現状の結果」を成果指標とすることが望ましい。 ・成果指標 については、受診が義務であるならば、概ね目標が達成していることから、今後は成果指標から外すか、受診率と他のデータ(都のものを含めた)とクロス集計する等して新たな指標を検討すべきではないか。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・給食を委託することや、就学前検診の受診率が、子供の健やかな成長につながる施策の成果を表すものでなく、わかりにくい。 ・数値なので分かりやすい。 ・今の指標のままでは、施策実施の成果を測るにはほど遠く、わかりにくい。 ・成果指標 について、途中から定義の解釈(算出方法)が変わったということが評価理由に書かれていたが、わかりにくかったため、記載方法(場所)に工夫してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食を委託することや、就学前検診の受診率が、子供の健やかな成長につながる施策の成果を表すものでなく、わかりにくい。 ・成果指標 について、途中から定義の解釈(算出方法)が変わったということが評価理由に書かれていたが、わかりにくかったため、記載方法(場所)に工夫してほしい。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の根拠も不明であるため、施策が「子供の健やかな成長につながった」という根拠となる指標、目標値を設定すべき。 ・成果指標 については妥当と思うが、成果指標 についてはそもそもこれが目標なのかという疑問あり。 ・いずれも行動目標であり、成果目標ではない。行動目標にしても、設定理由がわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の根拠も不明であるため、施策が「子供の健やかな成長につながった」という根拠となる指標、目標値を設定すべき。 ・成果指標 については妥当と思うが、成果指標 の調理業務委託の学校数についてはそもそもこれが目標なのかという疑問がある。 ・いずれも行動目標であり、成果目標ではない。行動目標にしても、設定理由がわかりにくい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の根拠も不明であるため、施策が「子供の健やかな成長につながった」という根拠となる指標、目標値を設定すべき。 ・成果指標 については妥当と思うが、成果指標 の調理業務委託の学校数についてはそもそもこれが目標なのかという疑問がある。 ・いずれも行動目標であり、成果目標ではない。行動目標にしても、設定理由がわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の根拠も不明であるため、施策が「子供の健やかな成長につながった」という根拠となる指標、目標値を設定すべき。 ・成果指標 については妥当と思うが、成果指標 の調理業務委託の学校数についてはそもそもこれが目標なのかという疑問がある。 ・いずれも行動目標であり、成果目標ではない。行動目標にしても、設定理由がわかりにくい。 	

(3) 評価について				
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 指標、目標値からは十分納得ができるわけではない。 目標値からすると妥当ということになる。 内容的には、普通のことA(十分な成果があった)とするには時期尚早である。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の目標値からすると評価結果は妥当ということになるが、そもそも指標の設定にはさらに工夫が必要である。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 指標、目標値からは十分納得ができるわけではない。 目標値からすると妥当ということになる。 施策実施の準備のような事業をやったからと言って、施策の目的が達成されたと評価することは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の目標値からすると妥当だが、指標の設定にはさらに工夫が必要である。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 一部コストと関連が薄い記述もあるがおおむね妥当と判断。 内容的には、普通のことA(コストが低い)とするには時期尚早である。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部コストと関連が薄い記述もあるがおおむね妥当である。
	イ)評価理由の妥当性	2	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果、あるいは類似の案件よりも安くあがっているというような効率性の説明になっていない。 一部疑問の記述があるが、おおむね妥当と判断。 調理業務委託は、行革推進プランに基づいて実施している事業であるから、委託が目的ではなく、質を維持しながら、全体の費用(コスト)を下げることを目標とすべきで、更なる努力が必要と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果、あるいは類似の案件よりも安くあがっているというような効率性の説明になっていない。 調理業務委託は、行政改革推進プランに基づいて実施している事業であるから、委託が目的ではなく、質を維持しながら、全体の費用(コスト)を下げることを目標とすべきで、更なる努力が必要である。
要因分析	内部要因 記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 必要な記述はされている。 調理業務委託は、委託が目的ではなく、質を維持しながら、全体コストを下げるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね必要な記述はされている。
	外部要因 記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 必要な記述はされている。 施策目標達成への言及が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね必要な記述はされているが、施策目標を達成したかどうかの根拠についての言及が望ましい。
	複合要因 記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 必要な記述はされている。 施策目標達成への言及が望ましい。 複数の事業を懸命にやっていることはわかったが、その成果として、「意識」が変化している説明にはなっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね必要な記述はされているが、施策目標を達成したかどうかの根拠についての言及が望ましい。
総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが自主的に行っているわけではなく、また施策との関連性もみえにくい「朝ごはん調べ」の結果に頼りすぎている。朝ごはん調べに頼るのであれば、施策とつながりのある質問を朝ごはん調べに追加するなど工夫が必要。 目標値からすると妥当ということになる。 内容的には、普通のことA(十分な成果があった)とするには時期尚早である。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の目標値からすると妥当であるが、施策との関連性が見えにくい「朝ごはん調べ」の結果に頼りすぎている。朝ごはん調べに頼るのであれば、施策とつながりのある質問を朝ごはん調べに追加するなど工夫が望ましい。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 自らが掲げた事業の方向性や目標からすると妥当ということになる。 食に対する指導をすることは、「生きる力」をつける基本的なことであり、その成果として「児童・生徒の健康と体力」がどの様になったかを見極め、総合的に施策の進め方を見直すようにすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らが掲げた事業の方向性や目標からすると妥当であるが、食に対する指導をすることは「生きる力」をつける基本的なことであり、その成果として「児童・生徒の健康と体力」がどの様になったかを見極め、総合的に施策の進め方を見直すようにすることが望ましい。
(4) 改革・改善案について				
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
	ア)評価結果との関連性	3	<ul style="list-style-type: none"> 関連性は認められる。 背伸びしていない評価で妥当である。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連性は認められる。 背伸びしていない評価で妥当である。
	イ)内容の具体性	3	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な記載である。 具体的に児童の「健康と体力」の現状の結果データを活用し、他校や全国平均と比較しながら更なる向上へ改革するようにすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な記載でよいが、児童の「健康と体力」の現状の結果データを活用し、他校や全国平均と比較しながら更なる向上へ改革するようにすることが望ましい。
(5) その他(総合的なコメントなど)				
その他			<ul style="list-style-type: none"> 正直なところ、説明されて初めて理解できることが多かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策評価表の記載だけでは分からないことが多く、追加の説明があって初めて理解できた。

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		132 家庭・学校・地域で連携して青少年の健全育成を推進する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	・非行少年対策を含めることが望ましい。	・非行少年対策を含める ことが望ましい 。	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ人数を指標とするのは、必要としているグループのどれくらいをカバーしているのかが不明であるので、避けるべき。 ・担い手である親、地域団体から見た指標の採用も検討価値がある。 ・地区によって参加率にばらつきがあることなどから、より深い参加状態を把握する指標を設定する必要がある。 ・施策評価は色々な視点から判断する必要があるため、複数の指標を設定すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ人数を指標とするのは、必要としているグループのどれくらいをカバーしているのかが不明なので、避けるべきである。 ・担い手である親、地域団体から見た指標の採用も検討価値がある。 ・地区によって参加率にばらつきがあることなどから、より深い参加状態を把握する指標を設定する必要がある。 ・施策評価は色々な視点から判断する必要があるため、複数の指標を設定すべきである。 ・目標値の分母が青少年の実数で、分子の実績がのべ人数である。これで達成率を測るのは統計的に誤りである。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・一見すると判ったようになるが、よく考えると質的な面の把握が不足しており、より向上が望ましい。(社会貢献の件数なども考えられる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献の件数など、質的な面での把握ができる指標があるとのお分かりやすくなる。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・参加可能総人数を目標とするのは努力が足りないと思える。子どもの健全育成を目指した、より判り易く改善に結びつく指標、目標を設定する必要がある。 ・目標値の分母が青少年の実数で、分子の実績がのべ人数である。これで達成率を測るのは統計的に不可能というか間違いである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成を目指した、より判り易く改善に結びつく指標、目標を設定することが望ましい。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	・背伸びしていない評価で妥当である。	・背伸びしていない評価で妥当である。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の成果があったとするだけでなく、具体的な根拠を明示すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の成果があったとするだけでなく、具体的な根拠を明示することが望ましい。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・評価理由にそぐわないレベルである。	
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区の青少年のどれくらいが参加して、活性化にどのようにつながったかが不明である。 ・地域毎に参加率がばらついている状態から、Aとするには説明データが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区の青少年のどれくらいが参加して、活性化にどのようにつながったかを加えると分かりやすくなる。

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・一般的な書き方で、内部要因がどのように成果につながったかが示されていない。	・内部要因がどのように成果につながったかを加えると分かりやすくなる。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・外部要因として阻害要因が書かれているが、つまり、このために成果があがらなかったのかどうかは不明。外部要因が、マイナスの要因で対応が求められている等、施策との関係について記述が必要である。 ・現状をより深く分析して改善を進めることが望ましい。	・外部要因として阻害要因が書かれているが、マイナスの要因で対応が求められている等、施策との関係について記述があると分かりやすくなる。
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・現状をより深く分析して改善を進めることが望ましい。	・現状をさらに深く分析して改善を進めることが望ましい。
総合評価	ア)評価区分の妥当性		3	・背伸びしていない評価で妥当である。	・背伸びしていない評価で妥当である。
	イ)評価理由の妥当性		3	・延べ人数では、一人の青少年が何回も参加している可能性もあり、良好な結果を示すものではない。どうしても延べ人数で示すなら、どのような数値の取り方をしているのかを明示すべき。 ・青少年の実態をより具体的に把握し改善策を立てることが望ましい(例えば、学区毎の参加した児童、参加していない児童の実態を掴み、それに沿った推進策、改善策を立てるなどがある)。	・成果指標の延べ人数は、どのような数値の取り方をしているのかを明示すると分かりやすい。 ・青少年の実態をより具体的に把握し改善策を立てるとよい(例えば、学区毎の参加した児童、参加していない児童の実態を掴み、それに沿った推進策、改善策を立てるなどがある)。
(4) 改革・改善案について					
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)		コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	・背伸びしていない評価で妥当である。		・背伸びしていない評価で妥当である。
イ)内容の具体性		3	・区民の意見をもっと聞くなど、地域の問題点(健全育成や非行少年対策)を把握し、より深く分析して改善を進めることが望ましい。		・区民の意見をもっと聞くなど、地域の問題点(健全育成や非行少年対策)を把握し、より深く分析して改善を進めることが望ましい。
(5) その他(総合的なコメントなど)					
その他			<p>・青少年がレクリエーションより社会貢献に関心が高いことに感心した。</p> <p>・重要な施策であるが、現在の参加した青少年の延べ人数のままでは、十分に評価できないと考えられるため、今後は大きな数の指標でなくとも、新たに成果指標に加えてもよいのではないかと。もしくは、代表的な事業等については、データを取るなど工夫をすることを検討すべきではないか。</p>	<p>・青少年がレクリエーションより社会貢献に関心が高いことが理解できた。</p> <p>・重要な施策であるが、現在の参加した青少年の延べ人数のままでは、十分に評価できないと考えられるため、今後は大きな数の指標でなくとも、新たに成果指標に加えてもよいのではないかと。もしくは、代表的な事業等については、データを取るなど工夫をすることを検討すべきではないか。</p>	

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		211 健康づくりを支援する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事務事業の集合体であり、必ずしも必要十分条件ではない。 健康診断中心の手段でもいいが、それは健康づくりのごく一部の手段である。 いろいろな世代にまんべんなくしているという印象を受けた。 区民が自主的に健康増進に取り組んでいて、成果が出ている人を評価する仕組み(施策)を追加することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな世代にまんべんなく実施しているという印象を受けた。 区民が自主的に健康増進に取り組んでいて、成果が出ている人を評価する仕組み(施策)を追加することが望ましい。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> 成人病の前兆となるメタボリックシンドロームと、死亡原因の高位置を占めるがん検診。おおむね妥当と思われる。 成果指標は、実績値の分母がわからず、わかりづらいものであった。 成果指標のメタボリックシンドロームであることが本当にマイナスなのか。 成果指標はがん検診受診率ではなく、がん患者数の方が理解しやすいと思われる。 成果指標は、達成率が例年非常に低いことから、若年者の意見にも耳を傾け、受診のしやすさ等の改善を図りつつも、指標として取り扱うかどうかということについても検討してもよいのではないか。 成果指標のがん検診の割合が増えないことを評価から学べる指標の取り方ではない。 成人以外の指標も追加することが望ましい。 練馬区の健康づくりに関するサービスを区民がどう感じているか、意識調査が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 成人病の前兆となるメタボリックシンドロームと、死亡原因の高位置を占めるがん検診を指標とすることは、おおむね妥当と思われる。 成果指標は、がん検診受診率ではなく、がん患者数の方が理解しやすい。 成果指標は、達成率が例年非常に低いことから、若年者の意見にも耳を傾け、受診のしやすさ等の改善を図りつつも、指標として取り扱うかどうかということについても検討してもよいのではないか。 成人以外の指標も追加することが望ましい。 練馬区の健康づくりに関するサービスを区民がどう感じているか、意識調査を行うことが望ましい。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標は、指標の示し方がわかりにくい。母数は何なのか、メタボの人の人数なのか。 成果指標は、補足の説明がないとわからない。 成果指標は、成人に偏りすぎていて、更なる工夫が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標は、母数は何なのかを詳しく説明すると分かりやすくなる。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> 目標値設定の根拠が不明。 説明を受けて妥当と判断した。 成果指標は、全国共通の数値とこのことだが、実績の伸びが少なく、改善の為の指標設定としては妥当性を欠くので、改良が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値には妥当性はあるが、成果指標は全国共通の数値で、実績との乖離があり、改善のための指標を設定することを検討した方がよい。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> やや甘いとは思われる。 大人だけの指標で全体を評価するのは客観性に欠ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標に対する評価は概ね妥当だが、客観性を担保するためには大人以外の指標を設定することが望ましい。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 受診率があがることと、健康づくりが改善することは同じ意味ではない。よって、受診率があがったから、区民の健康づくりに成果があったとするのは難しい。 成果指標は何故実績値が伸びないのかの原因を追及することで、もっと区民が関心を持つよい成果指標を設定することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 受診率があがることと、健康づくりが改善することは同じ意味ではないので、区民の健康づくりの視点からの成果指標があることが望ましい。 成果指標は何故実績値が伸びないのかの原因を追及することで、もっと区民が関心を持つよい成果指標を設定することが望ましい。

効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・背伸びしていない評価でよい。	・背伸びしていない評価でよい。
	イ)評価理由の妥当性	3	・コストの記述は分かりやすい。 ・国・都の補助金もどちらも税金である。交付に頼らず、もっと視点を変えて区民が今まで以上に自主的に健康増進に取り組む事で、医療費を下げるような事業の持って行き方で区の経費を節減する事が望ましい。	・コストの記述は分かりやすいが、国・都の補助金もどちらも税金であり、交付に頼らず、もっと視点を変えて区民が今まで以上に自主的に健康増進に取り組む事で、医療費を下げるような事業の持って行き方で区の経費を節減する事が望ましい。
要因分析	内部要因 記載内容の妥当性	3	・必要な記述はされている。 ・検診を薦めるだけではなく、健康である事を評価する仕組みを作り、自主的に健康増進に区民が取り組むようにした方がよいと思う。	・必要な記述はされている。 ・検診を薦めるだけではなく、健康である事を評価する仕組みを作り、自主的に健康増進に区民が取り組むようにするとよい。
	外部要因 記載内容の妥当性	3	・必要な記述はされている。 ・検診を薦めるだけではなく、健康である事を評価する仕組みを作り、自主的に健康増進に区民が取り組むようにした方がよいと思う。	・必要な記述はされている。 ・検診を薦めるだけではなく、健康である事を評価する仕組みを作り、自主的に健康増進に区民が取り組むようにするとよい。
	複合要因 記載内容の妥当性	3	・必要な記述はされている。 ・IT化の時代なので、IT技術を活用し区民の健康作りの状況をもっと個人的に具体的に把握し、健康である人が増える方向にすることで、区の医療費全体を節減するように施策の舵取りをすることが望ましい。 ・受診率の向上が区の財政を圧迫することは、一方で事実かもしれないが、その記載で終わってしまうとデメリットのみクローズアップされるため、記載方法を検討して欲しい。	・必要な記述はされている。 ・IT化の時代なので、IT技術を活用し区民の健康作りの状況をもっと個人的・具体的に把握し、健康である人が増える方向にすることで、区の医療費全体を節減するように施策の舵取りをすることが望ましい。 ・受診率の向上が区の財政を圧迫することは、一方で事実かもしれないが、その記載で終わってしまうとデメリットのみクローズアップされるため、記載方法を検討した方がよい。
総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	・成果指標 の数値が説明なしでは読み切れなかったため厳しい評価とした。 ・要因分析での反省などから見ても、Aとするには時期尚早と思う。	・要因分析の反省から、さらに改善を進めてほしい。
	イ)評価理由の妥当性	3	・数値をあげて説明されている内容を見ると妥当と判断できる。 ・事務事業の評価がAAが多いと言うが、施策の成果指標 に相当する 12「生活習慣病健康診査事務」や 13「歯科衛生対策事務(歯科健康診査)」の総合評価は、Cであり、矛盾する。代表事務事業の総合評価を上げる事から始める事が望ましい。	・数値をあげて説明されている内容を見ると妥当と判断できるが、施策の成果指標 に相当する事務事業である 12「生活習慣病健康診査事務」や 13「歯科衛生対策事務(歯科健康診査)」の総合評価はCであり、これらの総合評価を上げることは必要である。
(4)改革・改善案について				
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	・結果以外の記述が多いが、関連ある記述もされている。 ・内容からAとするには、時期尚早である。	・結果以外の記述も多いが、関連ある記述がされている。
	イ)内容の具体性	3	・さまざまな事業について、具体的な内容を記載されているのでおおむね妥当と判断できる。 ・庁舎内での推進策を検討するだけでなく広く区民の意見を収集し、より区民の目線で、区民の協力も得て、区の医療費全体を削減することが望ましい。	・さまざまな事業について、具体的な内容が記載されているのでおおむね妥当と判断できる。 ・庁舎内での推進策を検討するだけでなく広く区民の意見を収集し、より区民の目線で、区民の協力も得て、区の医療費全体を削減することが望ましい。
(5)その他(総合的なコメントなど)				
その他			・成果指標 の目標値実績値の説明が足りなかったことが、非常に悔やまれるところだ。 ・健康診断の利用しやすさなどに関して、区民の声をフィードバックするしくみが欲しい。	・成果指標 の目標値・実績値の説明が足りなかったことが、非常に悔やまれるところだ。 ・健康診断の利用しやすさなどに関して、区民の声をフィードバックするしくみが欲しい。

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		232 保健福祉の総合支援体制を確立する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> ・追加で受領した資料(体系図)を見て初めて全体が理解できた。事務事業の名称の付け方を含め、区民にもっと理解しやすくするよう改善することが望ましい。 ・体系図を戴いたが、複雑すぎて良く理解できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業の体系は、事務事業の名称の付け方を含め、区民にもっと理解しやすく改善することが望ましい。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目標と、相談件数を増やすことに多少乖離がある。 ・区民側からの評価指標が必要である。一方通行の感が否めない。 ・相談件数は一つのアウトカムとは思いますが、区民から見るとこれだけで全体を理解せよというには無理がある。相談内容を内容別に分類するなどして、解決されたか?とか今後の支援体制の充実に生かす事ができる指標の併設が望ましい。 ・アウトプット指標ではあるが、成果(アウトカム)指標ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は一つの成果(アウトカム)とは思いますが、相談内容を内容別に分類し、解決されたかどうかなど、今後の支援体制の充実に生かす事ができる指標の併設が望ましい。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・相談する側の意見を確認することが必要である。 ・民間事業者での相談件数などを含め、保健福祉での支援を求める区民にもっと判り易く(支援を求めやすく)することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談する側の意見も評価に取り入れると分かりやすい。 ・民間事業者での相談件数などを含め、保健福祉での支援を求める区民にもっと判り易く(支援を求めやすく)することが望ましい。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値設定の根拠を明確に示すべきである。 ・平成26年度の目標値が達成されているにもかかわらず、そのまま目標値として使うことは望ましくない。 ・平成20年度の数値を基に26年度まで目標値を固定するという考え方は納得できない。区民の意見を聞くなどして現状をどの位改善していくべきかの努力目標を設定して活動すべきである。 ・相談件数が、必ずしも状況の改善を示すとは限らない。 ・各機関の窓口寄せられる相談件数の総計に加え、各機関が連携して支援にあたっている点について、大きな数でなくとも指標を新たに追加するなど、今後は検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の目標値が達成されているにもかかわらず、そのまま目標値として使うことは望ましくない。 ・平成20年度の数値を基に26年度まで目標値を固定するという考え方は納得できない。区民の意見を聞くなどして現状をどの位改善していくべきかの努力目標を設定して活動すべきである。 ・相談件数が、必ずしも状況の改善を示すとは限らない。 ・各機関の窓口寄せられる相談件数の総計に加え、各機関が連携して支援にあたっている点について、大きな数でなくとも指標を新たに追加するなど、今後は検討して欲しい。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点	コメント・改善点	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・行政側から一方的に成果ありとしている。 ・平成20年度の実績値から設定した固定の目標値を達成したからAと評価したと言う論理は飛躍し過ぎる。 	
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確にすべきである。 ・本当に成果があがっていかどうかは、区民からの評価がないとわからない。 ・施設・拠点の整備など、実行したことのみから成果があったとしているが、受け手の区民の利便性が良くなったかなどの反応、意見などから成果を判断するべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・拠点の整備など、実行したことのみから成果があったとしているが、受け手の区民の利便性が良くなったかなどの反応、意見などから成果を判断することが望ましい。

効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・人員増や増設は、効率性につながらない。 ・コストに関する説明が不十分である。	
	イ)評価理由の妥当性	2	・コストが低いことは、この説明ではまったくわからない。区民一人あたりの経費は増加しているのだから、納得のいく説明が必要である。 ・施設整備、人員増だけが効率性の基ではない事に気づくべきである。そのアウトカムが区民に評価された上で、その努力が如何に効果的に行われたかで判定されるものである。 ・内容・サービスが充実したなど成果が高いことの説明にはなっているが、効率性が高い説明として不十分である。	・コストが低いことは、この説明ではまったくわからない。区民一人あたりの経費は増加しているのだから、納得のいく説明が必要である。 ・施設整備、人員増だけが効率性の基ではない事に気づくべきである。成果(アウトカム)が区民に評価された上で、その努力が如何に効果的に行われたかで判定されるものである。 ・内容・サービスが充実したなど成果が高いことの説明にはなっているが、効率性が高い説明として不十分である。
要因分析	内部要因 記載内容の妥当性	3	・成果の説明の要約のようであり、より改善するための区内部での問題点の説明になっていない。区民が「相談する場所が判らない」などの区内の問題点の把握が必要である。	・成果の説明の要約のようであり、より改善するための区内部での問題点の説明になっていない。区民が「相談する場所が判らない」などの区内の問題点の把握が必要である。
	外部要因 記載内容の妥当性	3	・記載内容は、内部要因であって、施策の中で対応すべきことである。 ・練馬区の外部からの問題点についてさらに考慮すべきである。 ・区民の声をもとに判断している点が良い。	・区民の声をもとに判断する姿勢はよいが、区と区民との関わり方の視点ではなく、区がコントロールできない、民間や都・国の取組や社会経済の動向などについて、考慮することが望ましい。
	複合要因 記載内容の妥当性	3	・今後、地域包括ケアシステム構築を通じて、練馬区に内在する様々な問題点を把握し、解決していくことを期待する。	・今後、地域包括ケアシステム構築を通じて、練馬区に内在する様々な問題点を把握し、解決していくことを期待する。
総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	・全て区側の実行した事への評価であり、一方的で、全てがAとは区民からは納得できない。	・区民の利便性がどう高まり、区民の満足度がどう高まったかの視点から評価することが望ましい。
	イ)評価理由の妥当性	3	・施設数の増加・内容の充実により、区民の利便性がどう高まり、区民の満足度がどう高まったかで評価すべきであり、区民の反応データを可能か限り関連する施設で収集する必要がある。 ・具体的であるが、評価結果のどこをどう活かしてこうなったのかわかりにくい。ポイントを絞って書いてはどうか。	・具体的な記載でよいが、評価結果のどこをどう活かしてこうなったのかわかりにくいので、ポイントを絞って書いた方がよい。

(4)改革・改善案について

検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性	3	・評価との関連性が明確でない。評価とは別に、施策について次の計画が示されているような印象である。 ・関連性が低い記述が大半である。 ・全て区側の実行した事、実行しようとしていることであり、一方的で、全てがAとは区民からは納得できない。	・施策について次の計画が示されているような印象があるので、評価との関連性について明確にしていくとよい。
イ)内容の具体性	3	・施設数の増加・内容の充実により、区民の利便性がどう高まり、区民の満足度がどう高まったかの区民の反応データを可能か限り関連する施設で収集し、今後の改善の基準とする必要がある。	・施設数の増加・内容の充実により、区民の利便性がどう高まり、区民の満足度がどう高まったのかを示す反応データを可能な限り関連する施設で収集し、今後の改善の基準とすることが望ましい。

(5)その他(総合的なコメントなど)

その他	・たくさんの記載があるのに評価が低くなってしまふのがとても残念だ。区民目線の欠如が最大の要因かと思われる。	・たくさんの記載があるのに評価が低くなってしまふのがとても残念だ。区民目線の不足が最大の要因かと思われる。
-----	---	---

〔評価〕 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		233 保健福祉サービスの利用を支援する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> この施策だけではないが、施策のくくりが必ずしも包括的に考えられたものではないことが多く、手段として適当かという判断は難しい。 追加で受領した資料(体系図)を見て初めて232との関係や全体が理解できた。施策名称などを区民にもっと理解しやすくするよう改善すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> この施策だけではないが、施策のくくりが必ずしも包括的に考えられたものではないことが多く、手段として適当かという判断は難しい。 施策名称などを区民にもっと理解しやすくするよう改善するとよい。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	<p>評価</p> <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者側の満足度を示す指標を工夫できないか。 成年後見制度も大事とは思いますが、施策全体の改善指標としては力不足と思う。指標をもっと生かして活用すべきである。 アウトプット指標ではあるが、成果(アウトカム)指標ではない。 	<p>コメント・改善点(提言版)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の成年後見制度も大事であるが、施策全体の改善指標として、利用者側の満足度を示す指標を設定することが望ましい。 	
	わかりやすさ	<p>評価</p> <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度も大事とは思いますが、施策全体を表す指標としては分かり難い。 「区長による申し立て」とは何であり、どのような意味があるのか区民にわかりにくい。 	<p>コメント・改善点(提言版)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「区長による申し立て」とは何であり、どのような意味があるのか記載を工夫することが望ましい。 	
	目標値の妥当性	<p>評価</p> <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> すでにはるかに目標値を超える実績をあげており、目標値の修正が必要と思われるため妥当性に疑問がある。 事務事業 3「権利擁護事務」との関連も含め、目標値の設定理由が区民には分かりにくい。 最後の砦ともいえる成年後見制度区長申立件数は、一つの指標として捉えることは可能だと思われるが、そのみを施策の成果指標とすることには無理がある。成果指標といえるかどうかは、疑問が残るものの、権利擁護センター「ほっとサポートねりま」における相談件数等を指標として追加するなどの検討が必要である。 	<p>コメント・改善点(提言版)</p> <ul style="list-style-type: none"> すでにはるかに目標値を超える実績をあげており、目標値の修正が必要と思われるため妥当性に疑問がある。 事務事業 3「権利擁護事務」との関連も含め、目標値の設定理由が区民には分かりにくい。 最後の砦ともいえる成年後見制度区長申立件数は、一つの指標として捉えることは可能だと思われるが、そのみを施策の成果指標とすることには無理がある。成果指標といえるかどうかは、疑問が残るものの、権利擁護センター「ほっとサポートねりま」における相談件数等を指標として追加するなどの検討が必要である。 	
	(3) 評価について			
	検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
	成果	ア)評価区分の妥当性	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標値は達成しているが、大幅に上回っている場合、その理由や目標設定の妥当性を疑うべきではないか。 評価理由からAとするには説明不足である。 	<p>コメント・改善点(提言版)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標値は達成していることから評価は妥当であるが、大幅に上回っている場合、その理由や目標設定の妥当性を再検討することが望ましい。
イ)評価理由の妥当性		<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価理由 は事務事業 1「福祉サービス第三者評価受審支援事務」の成果であり、施策目標には設定されていない。設定されていない事項により評価することは矛盾している。 	<p>コメント・改善点(提言版)</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価理由 は事務事業 1「福祉サービス第三者評価受審支援事務」の成果であり、施策目標には設定されていない。施策目標との関係を説明することが望ましい。 	
効率性	ア)評価区分の妥当性	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策全体として成果が高いと評価するには説明不足でAとするにはデータが十分でない。 	<p>コメント・改善点(提言版)</p> <ul style="list-style-type: none"> データをもとに説明があると分かりやすい。 	
	イ)評価理由の妥当性	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 都の補助金も国民の税金から出ている。それがあから効率的というのをおかしい。予算の使用に対してどう工夫をこらしているのかが効率性である。 経費の増減理由にある「福祉情報システムの再構築が完了した」とは、どういう意味か。 	<p>コメント・改善点(提言版)</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価理由は概ね理解できるが、理由の一つの「都の補助金が活用できる」は、都の補助金も国民の税金から出ていることから効率性の理由とならないのではないか。 	

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・施策全体をカバーする内部要因を記載すべきである。	・施策全体をカバーして記載することが望ましい。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・施策全体をカバーする外部要因を記載すべきである。	・施策全体をカバーして記載することが望ましい。
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・福祉情報システムは再構築が完了しているが、外部条件の変化でまだまだ改正が必要になる状況にある事から、全ての評価がAであるというのは矛盾している。	
総合評価	ア) 評価区分の妥当性		3	・全て区側の実行した事への評価であり、区民からの反応・評価が入っていないのでAとは納得できない。	・区側の実行した事への評価だけでなく、区民からの反応・評価が入れることが望ましい。
	イ) 評価理由の妥当性		3	・成果指標と関連性の高い理由を示すべきである。 ・成年後見制度が中心の記述であるが、区民の健康福祉サービスの利用を支援するという施策目的全般からの記述とすべきである。	・成年後見制度に対する評価は妥当であるが、区民の健康福祉サービスの利用を支援するという施策目的全般からの記述があることが望ましい。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア) 評価結果との関連性		3	・取り組んでいる事は評価できるが、区民目線での評価がないので、「A達成」とすることは納得できない。	
	イ) 内容の具体性	3	・施策目的全般からの記述となっていることはよい。情報システムの再構築などには、これを利用する区民の要望・意見を反映させて進めることが望ましい。	・施策目的全般からの記述となっていることはよいが、情報システムの再構築などには、これを利用する区民の要望・意見を反映させて進めることが望ましい。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・成年後見制度については、いろいろな問題点も指摘されている。それについてのコメントがあると、もっと内容が深くなったと思われる。</p> <p>・この施策の評価は全ての項目でAであるが、区民の評価をまったく入れていないようである。区民の意見、アンケートなどをとり、客観的な意見も評価に反映すべきである。</p> <p>・評価表が内部用語など内輪感覚で書かれていて、一般の区民の視点で書かれていない。</p>	<p>・成年後見制度については、いろいろな問題点も指摘されている。それについてのコメントがあると、もっと内容が深くなったと思われる。</p> <p>・この施策の評価は全ての項目でAであるが、区民の評価をまったく入れていないようである。区民の意見、アンケートなどをとり、客観的な意見も評価に反映すべきである。</p> <p>・評価表の記載にあたっては、専門用語はできるだけ減らし、一般の区民に分かりやすい表現を用いるようにした方がよい。</p>
-----	---	---

(評価) 5: 妥当性が非常に高い 4: 妥当性が高い 3: 概ね妥当 2: 妥当性がやや低い 1: 妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		243 要支援・要介護高齢者を支援する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> ・施策のくり方から考えて、この判断は難しい。 ・介護保険制度についての区民の理解をより高めるための事業の必要性が高いと思われるのでその内容について質問したところ、実施の事実は把握できたが、区民として知る機会がなかった。手段の妥当性は一定の評価をするが、事業の進め方の重要性も再認識させられた。 ・施策全体をもっと区民に判りやすくしないと区民からの評価は上がらない。例えば、高齢者の実態に即した事務事業の説明を判り易い言葉・表現で作成説明・配布するなどがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策のくり方から考えて、この判断は難しい。 ・手段の妥当性は一定の評価をするが、介護保険制度についての区民の理解をより高めるための事業の必要性が高いと思われる。 ・施策全体をもっと区民に判りやすくしないと区民からの評価は上がらない。例えば、高齢者の実態に即した事務事業の説明を判り易い言葉・表現で作成説明・配布するなどがある。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・よく工夫されているが、区民側の意見を聞いた指標があるとより納得性が高い。 ・成果指標 共、何となく代表しているように見えるが、高齢者への支援が高齢者からどう評価されているかとなると判らない。区民目線の指標の設定が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よく工夫されているが、区民側の意見を聞いた指標があると、より納得できるものとなる。 ・相談者や利用者のアンケートを取るとよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; text-align: center;"> その他から移動しました。 </div>
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを必要とされる人がどれくらいいて、施策でどれくらいがカバーされ、どのような変化をもたらしたかを示すと分かりやすい。 ・支援を提供する側の実行指標のみでは区民からの評価は得られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを必要とされる人がどれくらいいて、施策でどれくらいがカバーされ、どのような変化をもたらしたかを示すとより分かりやすい。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年増加するという目標値は適当と考えられる。 ・成果指標 は、対象者数の90%で設定されており、既に100%を越えているのであれば、この施策をこれからどう改善していくかを測る指標としての意味を持たなくなっている。成果指標 も達成率100%以上となっているので、改善の手がかりに出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年増加するという目標値は適当と考えられるが、成果指標 も達成率100%以上となっているので見直しが必要ではないか。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標をもっと区民目線から改善しないと、この項目の妥当性は上がらない。 	
	イ)評価理由の妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・評価理由の書き方が丁寧で分かりやすい。 ・与える側からの指標ばかりで成果を評価しないで、支援される側の評価も組み入れるようにしないと妥当性は上がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価理由の書き方が丁寧で分かりやすい。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コストが低減してきていることは認めるが、成果が指標の設定の経過から区民の目線からは外れており高いと言うには概念的であり、Aとは評価できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コストが低減してきていることは評価できるが、成果指標は区民の目線からの設定が必要ではないか。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・運用コストや相談コストの低減だけが効率性ではない事に気づくべきである。効率性は区民目線の成果指標に設定され、そのアウトプットが如何に効率よく得られたかで判定されるものである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運用コストや相談コスト低減についてはわかりやすく記載されているが、区民目線の成果指標を設定し、その実績(アウトプット)が如何に効率よく得られたかも記載があるとより納得できるものになる。

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・「真に必要なサービスを適正に提供している」と言い切るには現状の評価指標では力不足である。	・「真に必要なサービスを適正に提供している」とするには、区民目線の成果指標を設定して評価する必要があるのではないかと。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・記述は一般論であり、練馬区にとって大事で、手を打つべきの外部要因は何かを真摯に検討することを期待したい。	・一般的な外部要因だけでなく、練馬区にとって、 施策の効果を上げるのに 大事で、手を打つべき 優先度が高い 外部要因は何かを検討することが望ましい。
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・今後に期待する。	
総合評価	ア)評価区分の妥当性		3	・Aとするには、時期尚早であろう。	
	イ)評価理由の妥当性		3	・地域包括ケアシステムの構築はこれからであり、区民目線の評価が組み込まれて行くであろう、これからの期待したい。	・地域包括ケアシステムの構築はこれからであり、区民目線の評価が組み込まれて行くであろう、これからの期待したい。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性	3		
イ)内容の具体性	3	・今後に期待する。	・地域包括ケアシステムの実現に期待する。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・計画にのっとったさまざまな体制づくりや支援策の記述とは裏腹に、区民側の認知度が高まらないことから、せっきくの努力が生かされないという状況も垣間見える。区民目線での評価指標の採用が、施策評価には重要と思われる。</p> <p>・各高齢者との接点で可能な限り高齢者(必要なら家族を含む)からの評価を入れて改善を図っていくとよい。</p> <p>・相談者や利用者のアンケートを取るとよいと考える。</p> <p>・非常に重要な施策であると同時に、高齢化に伴い変化している制度や政策と連動しているため、様々な面で適宜検討が必要である。成果指標およびその目標(設定)についても、今後は、適宜検討が必要ではないか。</p>	<p>・計画にのっとったさまざまな体制づくりや支援策の記述とは裏腹に、区民側の認知度が高まらないことから、せっきくの努力が生かされないという状況も垣間見える。区民目線での評価指標の採用が、施策評価には重要と思われる。</p> <p>・各高齢者との接点で可能な限り高齢者(必要なら家族を含む)からの評価を入れて改善を図っていくとよい。</p> <p>・相談者や利用者のアンケートを取るとよいと考える。</p> <p>・非常に重要な施策であると同時に、高齢化に伴い変化している制度や政策と連動しているため、様々な面で適宜検討が必要である。成果指標およびその目標(設定)についても、今後は、適宜検討が必要ではないか。</p>
-----	---	--

(2) 成果指標・代表性に移動しました。

(評価) 5: 妥当性が非常に高い 4: 妥当性が高い 3: 概ね妥当 2: 妥当性がやや低い 1: 妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		244 高齢者の生活基盤づくりを支援する		
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> この施策は施設整備をカバーしており、ソフト面は他の施策であることを明示しないと、施策名からだけではわからない。 民間との協働も含め、高齢者の要望、期待により応える事務事業を追加すると区民の理解はもっと深まる。 	<ul style="list-style-type: none"> この施策は施設整備をカバーしており、ソフト面は他の施策であることを明示しないと、施策名からだけではわかりづらい。 民間との協働も含め、高齢者の要望、期待により応える事務事業を追加すると区民の理解はもっと深まる。 	
(2) 成果指標について				
指標全体の評価	代表性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> 利用者(高齢者)側の満足度がわかる指標が必要。量を示す指標と質を示す指標の2つにした方がいいのではない。 与える方からの指標に偏っているので、支援を受ける高齢者の要望、期待をどの程度満たしているかを測る指標を追加し、それを基に更なる改善を進めるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 与える方からの指標に偏っているので、支援を受ける高齢者の要望、期待をどの程度満たしているかを測る指標を追加し、それを基に更なる改善を進めることが望ましい。
	わかりやすさ	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> 実行(活動)指標のみではなく、高齢者が何%希望どおり入所できたかの成果などを指標とすると分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 実行(活動)指標のみではなく、高齢者が何%希望どおり入所できたかの成果などを指標とすると分かりやすい。
	目標値の妥当性	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
		3	<ul style="list-style-type: none"> 目標値の設定基準を明示すべき。 都の指標が正しいという前提に立っているが、区内の特別養護老人ホームの待機者数をみると区の現状は平均レベル以下と分析できている。となると目標値に区独自の視点が必要。 都からの押しつけ指標や事務事業の指標を持ってくるのではなく、区の実態に即し、区の高齢者の要望、期待を組み入れた具体的な目標にすべきである。 この目標からは「バランス良く整備が進んだか」どうかはわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 都の指標が正しいという前提に立っているが、区内の特別養護老人ホームの待機者数をみると区の現状は平均レベル以下と分析できている。となると目標値を区の実態に即し、区の高齢者の要望、期待を組み入れた具体的な目標にすることが望ましい。
(3) 評価について				
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 目標値の妥当性に疑問があるため、十分な成果があったとする区の評価はやや甘いと思われる。ただ、実際にかなり急ピッチで計画を推進しているので、評価は据え置きとした。 成果指標の妥当性をもっと改善しないと、この項目の妥当性は上がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際にかかなり急ピッチで計画を推進しているが、成果指標を区民目線からのものに設定しなおした方がより納得できるものになる。
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 目標が達成されたことはわかるが、ハード面だけの達成で高齢者の生活整備に必要十分とは思えないので、連携をとる施策の状況なども示した方が分かりやすい。 活動指標からのみの成果では不十分で、支援を受ける側からの成果も組み入れるようにしないと妥当性は上がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標が達成されたことはわかるが、ハード面だけの達成で高齢者の生活整備に必要十分とは思えない。ソフト面で高齢者の生活を支援する他の施策の状況なども示した方が分かりやすい。
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 概念的な説明では評価できない。 	
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備だけが効率性ではない事に気づくべきである。成果が区民目線の指標が設定されて、そのアウトプットが如何に効率よくなされたかで判定されるものである。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備の効率性以外にも、区民目線の成果指標を設定し、その実績(アウトプット)が如何に効率よくなされたかの評価があるとより納得できるものになる。

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	3	・説明が施設整備に重点が置かれており、区民からの目線で区民の要望を満たすにはどうするかを考慮しないと理解は得られない。	・施設整備の視点からの要因分析は理解できるが、区民からの目線で区民の要望を満たすにはどうするかを考慮するとより納得できるものになる。
	外部要因	記載内容の妥当性	3	・説明が施設整備に重点が置かれており、区民からの目線で区民の要望を満たすにはどうするかを考慮しないと理解は得られない。	
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・説明が施設整備に重点が置かれており、区民からの目線で区民の要望を満たすにはどうするかを考慮しないと理解は得られない。	
総合評価	ア)評価区分の妥当性		3	・施設整備だけでは一方的な評価となる。	
	イ)評価理由の妥当性		3	・ソフト面を改善する施策との関係、達成状況などを示さないと、目標が達成されたとは納得しがたい。 ・区側からの評価のみであるので、高齢者(その保護者も含)からの評価を含めるべきである。	・ソフト面を改善する施策との関係、達成状況などを示すと、目標達成より納得できるものになる。 ・区側からの評価のみであるので、高齢者(その保護者も含)からの評価を含めることが望ましい。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	・施設整備だけでは一方的な評価となる。	
	イ)内容の具体性	3	・区側からの評価のみであるので、高齢者(その家族、保護者も含)からの評価を含めるべきである。	・区側からの評価のみであるので、高齢者(その家族、保護者も含)からの評価を含めるとより納得できるものになる。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・施策244「高齢者の生活基盤づくりを支援する」は施設面での事業を取りまとめているため、施策評価もそれに合わせる形になる。しかし、本来高齢者の生活を社会参加を支援するという政策から、無理に施策243「要支援・要介護高齢者を支援する」と分けた感がある。施策評価の一つの問題点を提起していると思う。</p> <p>・ハード中心の事業と理解したが、ソフト面の事業も知りたい。</p> <p>・高齢者の生活基盤づくりを支援するという点において、ソフト面の整備とともに、それを支えるハード面の整備は必要である。区民の生活を支えるデータに基づいた適切な整備を行ってほしい。</p>	<p>・施策244「高齢者の生活基盤づくりを支援する」は施設面での事業を取りまとめているため、施策評価もそれに合わせる形になる。しかし、本来「高齢者の生活と社会参加を支援する」という政策から、無理に施策243「要支援・要介護高齢者を支援する」と分けた感がある。施策評価の一つの問題点を提起していると思う。</p> <p>→ハード中心の事業と理解したが、ソフト面の事業も知りたい。 →高齢者の生活基盤づくりを支援するという点において、ソフト面の整備とともに、それを支えるハード面の整備は必要である。整備計画の基となる、区民の生活を支えるデータを知りたい。</p>
-----	---	--

(評価) 5: 妥当性が非常に高い 4: 妥当性が高い 3: 概ね妥当 2: 妥当性がやや低い 1: 妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		261 生活の安定に向けた自立支援を行う			
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について					
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
施策を達成する手段として適当か		3	・就労支援にもっと力を入れることが望ましい。 ・事務事業 8「行旅死亡人等取扱事務」と施策の結びつきが不明である。	・就労支援にもっと力を入れるとよい。 ・事務事業 8「行旅死亡人等取扱事務」と施策の結びつきが分かりにくい。	
(2) 成果指標について					
指標全体の評価	代表性		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
			4	・延べ人数は指標になじみにくい。 ・施策に含まれる一事業の指標が施策の指標として選ばれるケースがほとんどである。 ・難しい施策において、アウトカムを指標としている。25年度から設定した成果指標をもっと充実させることが望ましい。 ・良かれと思ってやっていることも、状況によっては成果が出ないこともある。その意味で支援人数のみを指標とするのは限界がある。	・難しい施策において、成果(アウトカム)を指標にしていることは高く評価できるが、施策を構成する事務事業の指標をそのまま用いずに成果指標をもっと充実させて、施策の目的の達成を測る指標を設定するとなおよい。また、成果指標は延べ人数ではなく実数で測るようにとするとさらに分かりやすくなる。
	わかりやすさ		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
			3	・区民にもっと理解されるような説明が望まれる。 ・成果指標に関して、確かに就職するだけが「自立」ではないが大きな要因なのでよい指標である。	・成果指標に関して、確かに就職するだけが「自立」ではないが大きな要因なのでよい指標である。 ・区民にもっと理解されるような説明があることが望ましい。
	目標値の妥当性		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
			3	・目標値の設定基準を明示すべき。 ・設定根拠については、実績を分析し、よりチャレンジングな目標を設定し、推進することが望ましい。	・目標値の設定基準を明示するとよい。 ・設定根拠については、実績を分析し、よりチャレンジングな目標を設定し、推進することが望ましい。
(3) 評価について					
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
成果	ア)評価区分の妥当性	3	・内容の充実を図ると評価はまだ上がると思われる。	・内容の充実を図ると評価はまだ上がると思われる。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・成果の達成について、指標を根拠としていない。 ・よりチャレンジングな目標に向かって活動されることを期待する。	・成果の達成について、成果指標にそった形で評価するとより納得できるものになる。 ・よりチャレンジングな目標に向かって活動されることを期待する。	
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	・同種または類似事業と比較して、コストが高いか低いかを検討した方が、学びがあり、改善点も検討できるのではないかと。 ・背伸びしていない評価で妥当である。	・背伸びしていない評価で妥当であるが、同種または類似事業と比較して、コストが高いか低いかを検討すると、学びがあり、改善点も検討できるのではないかと。	
	イ)評価理由の妥当性	4	・ここで費用が掛かっても、区全体の支出が減る方向に進んでいるのであれば区政全体の効率性として評価できるので、今後もっと自立支援の効果を高めるよう努力すべきである。 ・コストが高い理由が納得できた。	・ここで費用が掛かっても、区全体の支出が減る方向に進んでいるのであれば区政全体の効率性として評価できるので、今後もっと自立支援の効果を高めるようにすることが望ましい。 ・コストが高い理由が納得できた。	
要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	4	・増え続ける生活保護受給者の数を抑えるための、より前倒しの根本問題の解決を迫る活動を期待する。	
	外部要因	記載内容の妥当性	4	・生活保護受給者の意識を前向きに変える施策を期待する。	
	複合要因	記載内容の妥当性	-	・まだまだ努力を要する要因があると思う。	

総合評価	ア)評価区分の妥当性	3	・未だAとするには時期尚早と思う。	
	イ)評価理由の妥当性	3	・増え続ける生活保護受給者の数を抑える為には、専門家の支援も、手段だけでなく、受給者の実態をより深く把握し、精神面の意識改革を進めるなどのソフトな面の活動も期待する。	・増え続ける生活保護受給者の数を抑える為には、専門家の支援も、手段だけでなく、受給者の実態をより深く把握し、精神面の意識改革を進めるなどのソフトな面の活動も期待する。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
総合評価	ア)評価結果との関連性	3	・達成をAとするには、データでの説明が不足である。	・データの分析に基づく説明があるとより納得できるものになる。
	イ)内容の具体性	3	・就労支援のどういうところに重点を置くというコメントがあるとより具体的に分かりやすい。 ・今後も増え続ける生活保護受給者の数を抑える為の支援をもっと積極的に推進することを期待する。専門家の支援、手段の強化だけでなく、受給者の精神面の意識改革を進めるなどのソフトな面の強化も。	・就労支援のどういうところに重点を置くというコメントがあるとより具体的に分かりやすい。 ・平成27年度からかなりの変更が予想されることを、改革改善の最後に触れることが望ましい。 ・今後も増え続ける生活保護受給者の数を抑える為の支援をもっと積極的に推進することを期待する。専門家の支援、手段の強化だけでなく、受給者の精神面の意識改革を進めるなどのソフトな面の強化も。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・平成27年度からかなりの変更が予想されることを、改革改善の最後に触れるとよりよい。</p> <p>・今後は、就職、増収につながったものという一時点の評価ではなく、就労の継続性、生活の安定性という点の評価行っていく必要がある。そのため、難しい部分もあると思うが、関係機関と協力をしながら、就労支援を行った人を一定期間継続的に支援し評価してほしい。</p>	<p>・今後は、就職、増収につながったものという一時点の評価ではなく、就労の継続性、生活の安定性という点の評価を行っていく必要がある。そのため、難しい部分もあると思うが、関係機関と協力をしながら、就労支援を行った人を一定期間継続的に支援し評価してほしい。</p>
-----	--	---

(評価) 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		511 参加と連携による開かれた行政を進める				
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について						
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)		
施策を達成する手段として適当か		3	<ul style="list-style-type: none"> ・施策名と施策のくりに乖離がある以上、「適当」とは思えない。施策名をもっと事業内容に近いものにすべき。 ・網羅的過ぎて分かり難いので、組み合わせを見直さない限り、これ以上評価は上がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・網羅的過ぎて分かり難いので、施策と事務事業の組み合わせを見直さない限り、これ以上評価は上がらない。 		
(2) 成果指標について						
指標全体の評価	代表性		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な情報提供に関する指標であり、双方向でない。 ・区政への参加・参画がどの位進んでいるかを測る指標の設定も必要である。 ・目標である「参加」を測る指標となっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な情報提供に関する指標であり双方向でないので、区政への参加・参画がどの位進んでいるかを測る指標の設定することが望ましい。 	
	わかりやすさ		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目標達成度を測る手段としては未だ分かり難い。 		
	目標値の妥当性		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)	
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 の24年度は調査の回収方法を変えたために激減しているが、これを実力と思い、改善するにはどうするかを考慮すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標 の24年度実績は調査の回収方法を変えたために激減しているが、それを織り込んだ上で、改善するにはどうするかを検討することが望ましい。 	
(3) 評価について						
検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)		
成果	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 ・誠実な評価である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 ・誠実な評価である。 		
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・区民側からの声をどう受け取っているか、生かしたかについての成果の説明が必要である。 ・より評価を上げるには、不満足度調査により改善点を見つけ出し、改善を進めるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民側からの声をどう受け取っているか、生かしたかについての成果の説明があるとより納得できるものになる。 		
効率性	ア)評価区分の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・他の区役所の同種施策のコストと比較してはどうか。 ・背伸びしていない評価で妥当である。 ・誠実な評価である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 ・誠実な評価である。 ・他の区役所の同種施策のコストと比較した結果の記述があると分かりやすい。 		
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 		
要因分析	内部要因 記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・区側から提供している要因だけであるので、区民の反応に対する対応も考慮すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区側から提供している要因だけであるので、区民の反応に対する対応も考慮することが望ましい。 		
	外部要因 記載内容の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区独自の外部要因は何なのかの検討が不足している。 			
	複合要因 記載内容の妥当性	-	<ul style="list-style-type: none"> ・検討不足である。 			
総合評価	ア)評価区分の妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背伸びしていない評価で妥当である。 		
	イ)評価理由の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・区政への参加・参画がどの位進んでいるかを測る指標を設定し、改善すべきだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区政への参加・参画がどの位進んでいるかを測る指標を設定し、改善していくことが望ましい。 		

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト高を認識しているのに対しそれへの方策がない。 ・区民意識調査の満足度は低いのに、達成度がAとするには無理がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト高としていることに対する方策を記載することが望ましい。 ・区民意識意向調査の満足度が低い原因を分析して、高めていく努力をすることが望ましい。
	イ)内容の具体性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信は色々行われているが、「区民の区政への参加による区民との協調を図る」ためにも、区政実施の色々な局面での区民の反応、意見を収集しないと評価、改善は進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信は色々行われているが、「区民の区政への参加による区民との協調を図る」ためにも、区政実施の色々な局面での区民の反応、意見を収集していくことが望ましい。

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・協働について、「委託先」ばかりではなく、区民との協働という視点をもっと盛り込んで評価すべきではないか。 ・手段が増えれば増えるほど、提供される側に混乱が生じてしまう。表の詳しい記述を読めば読むほど、この現実をどう打開するべきかの視点が求められている気がする。 ・施策名で「参加」が強調されていることが、そもそも妥当でないのかもしれない。 ・今後は、若者を中心に、スマートフォンをはじめとしたモバイルでの利用を想定したホームページ等による情報の発信に力を入れる必要があると思われる。また、区内の教育機関および研究機関等を中心に積極的協力と情報公開を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働について、「委託先」ばかりではなく、区民との協働という視点をもっと盛り込んで評価すべきではないか。 ・手段が増えれば増えるほど、提供される側に混乱が生じてしまう。表の詳しい記述を読めば読むほど、この現実をどう打開するべきかの視点が求められている気がする。 ・施策名で「参加」が強調されていることが、そもそも妥当でないのかもしれない。 ・今後は、若者を中心に、スマートフォンをはじめとしたモバイルでの利用を想定したホームページ等による情報の発信に力を入れる必要があると思われる。また、区内の教育機関および研究機関等を中心に積極的協力と情報公開を行ってほしい。
-----	--	--

[評価] 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い

施策評価表検討シートB(評価・コメント・改善点)【提言記載検討最終版】

施策名		515 基礎的な住民サービスを効率的に提供する	
(1) 施策を達成する手段(事務事業)について			
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
施策を達成する手段として適当か	3	<ul style="list-style-type: none"> ・施策名と施策のくりに問題がある場合も、型通りの評価をすべきかどうか。 ・仕組みとして仕方がないことなのかもしれないが、関係薄い事業が多く含まれる現状は改善すべき。 ・施策名の「基礎的な住民サービスを効率的に提供する」というタイトルに対し、内容は住民登録、戸籍事務であり、タイトルをもっと判り易くすることが区民から見ると望ましい。(例;住民登録、戸籍事務を迅速に提供するなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策と関係が薄い事務事業が多く含まれており、区民にもわかりやすく改善することが望ましい。
(2) 成果指標について			
指標全体の評価	代表性	<ul style="list-style-type: none"> ・含まれている施策の多くとの関連性は低い。 ・年に一度行われるアンケートの満足度では、業務内容の改善の手がかりとするには力不足と思われる。 ・アンケートは一度だけでなく、年2-3回時期を変えてやるのはどうか。もちろん、現場の負担にならない調査方法が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは一度だけでなく、年2-3回時期を変えてやるのはどうか。もちろん、現場の負担にならない調査方法が望ましい。
	わかりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果(満足、やや満足の数値)だけで接遇面の改善を目指すには無理がある。具体的に区民の所要時間などを計り対応すべきである。(出・入り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果(満足、やや満足の数値)だけではなく、具体的に手続きの所要時間などを計り対応した方がより納得できるものになる。
	目標値の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値設定の根拠が不明。 ・窓口業務の問題点を把握しないで、満足度だけを上げようと目標設定しても空回りするだけである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値設定の根拠がわかるとよい。 ・満足度だけの目標設定ではなく、窓口業務の問題点を把握して指標を設定することが望ましい。
(3) 評価について			
検討・評価の視点	評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
成果	ア)評価区分の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果達成とするには、指標の代表性が低い。 ・業務改善をもっと進めると、評価はもっと上がると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善をもっと進めると、評価はもっと上がると思われる。
	イ)評価理由の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回のアンケートだけで、由とする考えには疑問がある。年度初めなどの住民の移動や戸籍の必要度が多い時に、待ち時間が60分となっているようでは住民は満足していないと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回のアンケートだけではなく、年度初めなどの住民の異動や戸籍の必要度が多い時なども考慮して評価することが望まれる。
効率性	ア)評価区分の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・この理由からは区分が妥当と思われない。 ・業務改善をもっと進めると、評価はもっと上がると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善をもっと進めると、評価はもっと上がると思われる。
	イ)評価理由の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・コストを低いとする根拠が明示されていない。 ・自動化できるところは自動化し、繁忙期は人を増やし、閑散期は人を減らすなど、年間を通しての費用を減らしてこそ効率的と言えるが、説明が不十分である。 ・現状のアンケートでは、業務の効率性を問う質問項目がない。次回からは、効率性を聞く質問を加えることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のアンケートでは、業務の効率性を問う質問項目がない。次回からは、効率性を聞く質問を加えてはどうか。 ・コストを低いとする根拠が明示されているとよい。 ・自動化できるところは自動化し、繁忙期は人を増やし、閑散期は人を減らすなど、年間を通しての費用を減らしてこそ効率的と言えるが、その詳細な説明があるとより納得できるものになる。

要因分析	内部要因	記載内容の妥当性	4	・電子化の進んだ今の時期にもっと電子化を進めれば、費用ももっと下げられ、区民の満足度ももっと上げられるはずである。	
	外部要因	記載内容の妥当性	4	・説明が一般的である。	
	複合要因	記載内容の妥当性	3	・説明が一般的である。	
総合評価	ア)評価区分の妥当性		3	・待ち時間が60分になる時期があるようでは、まだAと評価するのは時期尚早である。	
	イ)評価理由の妥当性		3	・自動交付機の利用率が高くなること、サービスが改善されたこと、必ずしもつながらないのではないが。 ・年間を通して業務改善が出来れば、もっとコストは下げられるはずである。	・自動交付機の利用率が高くなること、サービスが改善されたこと、必ずしもつながらないので、さらに説明があるとよい。 ・年間を通しての業務改善で更なるコスト減につながる工夫が望まれる。

(4) 改革・改善案について

検討・評価の視点		評価	コメント・改善点(概要版)	コメント・改善点(提言版)
ア)評価結果との関連性		3	・業務改善をもっと進めると、評価はもっと上がると思われる。	・業務改善をさらに進めると、評価はさらに上がると思われる。
	イ)内容の具体性	3	・電子化をもっと取り込まないと具体的な成果は得にくい。(例:入り口で業務種類毎の開始ボタンを押す、出口で終了ボタンと満足度ボタンを押すなどにより、時期毎の問題点・所要時間などがつかめる)	・電子化をさらに取り込まないと具体的な成果は得にくいのではないか。(例:入り口で業務種類毎の開始ボタンを押す、出口で終了ボタンと満足度ボタンを押すなどにより、時期毎の問題点・所要時間などがつかめる)

(5) その他(総合的なコメントなど)

その他	<p>・アンケートの質問項目策定に、区民の視点を入れることが望ましい。それによって区民参加の行政評価の道が開かれる。</p> <p>・アンケートによる調査は、その妥当性が求められるものであり、社会調査(統計)の専門家とともに、調査票を作成し取り組むべきではないか。</p>	<p>・アンケートの質問項目策定に、区民の視点を入れることが望ましい。それによって区民参加の行政評価の道が開かれる。</p> <p>・アンケートによる調査は、その妥当性が求められるものであり、社会調査(統計)の専門家とともに、調査票を作成し取り組むべきではないか。</p>
-----	--	--

〔評価〕 5:妥当性が非常に高い 4:妥当性が高い 3:概ね妥当 2:妥当性がやや低い 1:妥当性が低い